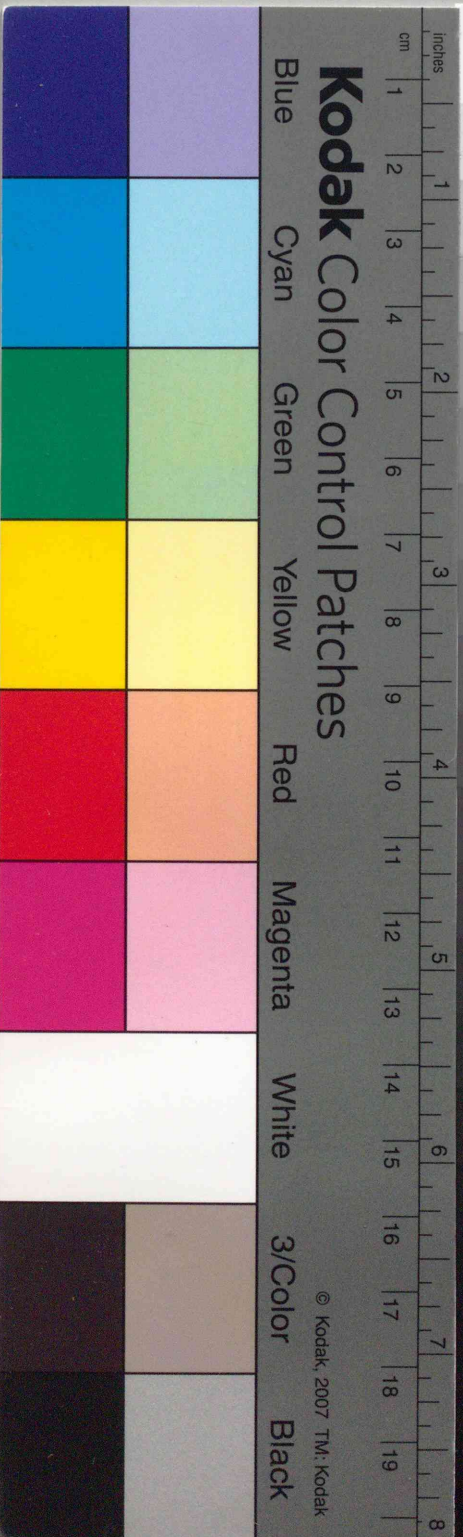


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
------	------	-------	--------	-----	---------	-------	---------	-------



25

昭和六年六月二十日發行

六 月 號

神奈川縣教育

雜五七

第貳百七拾五

[illegible]



◇ 眞價を物語り、大歓迎 ◇

# 神奈川縣著述

## 縣民讀本

壹部四拾錢  
菊版高尚堅牢  
四百二十二頁

— 寫眞・繪畫・圖表・地圖類七十二葉入 —

神奈川縣民が相互に理解を更張するために、縣といふ團體の歴史・地理・宗教・人物等精神生活の過去と現在とを明かにし、又縣民相互の利害の相通じてゐる所以を悟るために、財政・經濟・産業等の物質的生活の現状を知解し、自治行政・教育・警察を理解することは、縣民たるの意識を明確ならしめるに大切であり、將來斯くあるべしといふ指標を認めることが必要である——縣民讀本の使命は茲に存し、著述の意圖も茲に在ります。

内容といひ、一部四十錢であること、いひ、果して縣下各方面に歓迎せられ、十一月三日發行以來約二ヶ月間に壹萬部も賣り盡されるといふ盛況を呈して居ります。

神奈川縣教育課內 電話本局二一五三番

發行 神奈川縣教育會

## 懸賞文募集

### 懸賞題

一、本縣教育の現状よりみたる産業教育の振興について  
二、郷土に即した教育の體驗と之が振興方法について

### 規定

- 一、紙數、何れも四百字原稿紙、八枚乃至四拾枚
- 二、締切、縣廳内本會事務所に昭和六年十月末日限のこと
- 三、發表、同年十二月發行、本會雜誌に掲載、選外佳作とも
- 四、入選者には毎題、左額の懸賞金を贈呈す

第一等	金 參 拾 圓	壹 名
第二等	金 貳 拾 圓	壹 名
第三等	金 拾 圓	貳 名

現下、教育の懸望は、教育の實際化、具體化、地方化、勞作化と謂ふことである。凡そ人間、經濟を離れた生活をなし得ないと云ふことは、如今、大不況の襲來が寒村邊土にまで波及して、人間生活の起伏消長を如何に深刻に支配しつゝあるかといふ、吾人、如實の體驗事實が語つてゐるのではないか。所謂、經濟困難や、思想惡化を、根絶的に好個に轉開させ得る唯一の途がありとすれば、それは一般教育の機構をは、もつと實生活に振り向けよと謂ふことである。即ち最近教育の上に振興の新しい叫をきく所以のものは、かの生活哲學に立つからであらう。本會が今次、茲に二つの懸賞題を掲げて、或は理論に、或は實際方面に亘りて、恰く世の篤學なる人士に詢はんとする理由は、上述の趣旨にほかならないのであつて、而して之が一段の攻究を進め、嶄新の知識を呼び醒して、本縣教育に異彩の活躍を促進せんことを要望するからである。江湖の緒賢!! 幸に本會のこの企圖を賛せられ、平素蘊蓄せる卓見と體驗とを、大いに公開せられ、斯界啓發のために奮つて應募せられんことを本會は切に勸奨してやまない者である。





(二其) 部の 鶏 養 (下) (一其) 部の 兎 養 (上)

## 迎 歡 稿 寄

論 說

教育、科學、宗教、藝術、社會の各方面に亘り、穩健、眞摯、しかも卒直にして現代人を覺醒するにたるものなれば何でも可なり。

研 究

教授、訓練、管理、看護、其他施設などに於いて工夫を凝らし、體驗を積まれた實感、實相、實効、更に教育者を裨益するに足る資料として、それ／＼の専門家の研究、意見なども歓迎したい。

文 藝

創作、兒童としては、童謡、童話、童劇の如きを始め、漢詩、和歌、俳句その他自由詩、奇抜のところでは諷刺諧謔、洒脫、狂句其他漫畫、漫談の類もおもしろい。

報 道

自然と、社會事情の變化は、刻々として來る、地理、歴史、産業、文化施設など、地方的教育資料に迂濶なものも教育者としては有るされないことでもあらう。さては全郡市の教育状態の推移と盛衰とに覈へて、全縣教育の趨勢をお互に詳に知りたい。

以上は梗概。その他隨感、隨筆の類に至るまで奮つて寄稿願へれば幸である。個人でも團體でも、又何何の研究部とか、同人の研究とかの物でも、本誌を利用してどし／＼發表下さい。月刊がやがて週刊に發展するまで、お互に紙面を明るく賑やかにして戴くやうに。

縣下教職員數約六千といふに比しては、月々の寄書の員數が多い方とは云へないやうに思はれる。お互に忙殺されてゐるのですから、起稿が苦になる、併し持合はされてゐる金玉の意見を公開されるのも一種の奉仕作業だと考へられて、希くは御執筆下さい。原稿用紙は御一報次第お送りいたします。

神 奈 川 縣 教 育 會



◆卷の虎の導訓席首◆

次目總容内の書本

第一章 本書は此の重大なる使命を有する首席訓導の絶対唯一の修養虎の巻である。首席訓導は校長の輔佐役、女房役であり、又一面に副校長の地位にあつて、校長試補の職務を執るものである。従つて一校帷幄の最高幹部たる首席訓導の良否は一校の盛衰浮沈の分岐點をなすものである。

第二章 校長の輔佐としての立場。校長の代理者としての立場。校長の主眼方針としての立場。校長の威信と修養。校長の取捨役としての立場。

第三章 校長の職務。校長の職務の範囲。校長の職務の執行。校長の職務の監督。校長の職務の報告。校長の職務の記録。校長の職務の整理。校長の職務の連絡。校長の職務の協調。校長の職務の合作。校長の職務の共進。校長の職務の共栄。校長の職務の共濟。校長の職務の共榮。校長の職務の共進。校長の職務の共栄。校長の職務の共濟。校長の職務の共榮。

第四章 校長の修養。校長の修養の必要。校長の修養の目的。校長の修養の方法。校長の修養の場所。校長の修養の時間。校長の修養の費用。校長の修養の成績。校長の修養の反省。校長の修養の總結。校長の修養の展望。校長の修養の希望。校長の修養の努力。校長の修養の達成。校長の修養の完成。校長の修養の圓滿。校長の修養の幸福。校長の修養の健康。校長の修養の長壽。校長の修養の繁榮。校長の修養の昌盛。校長の修養の興隆。校長の修養の發達。校長の修養の進歩。校長の修養の文明。校長の修養の繁榮。校長の修養の昌盛。校長の修養の興隆。校長の修養の發達。校長の修養の進歩。校長の修養の文明。

# 首席訓導學

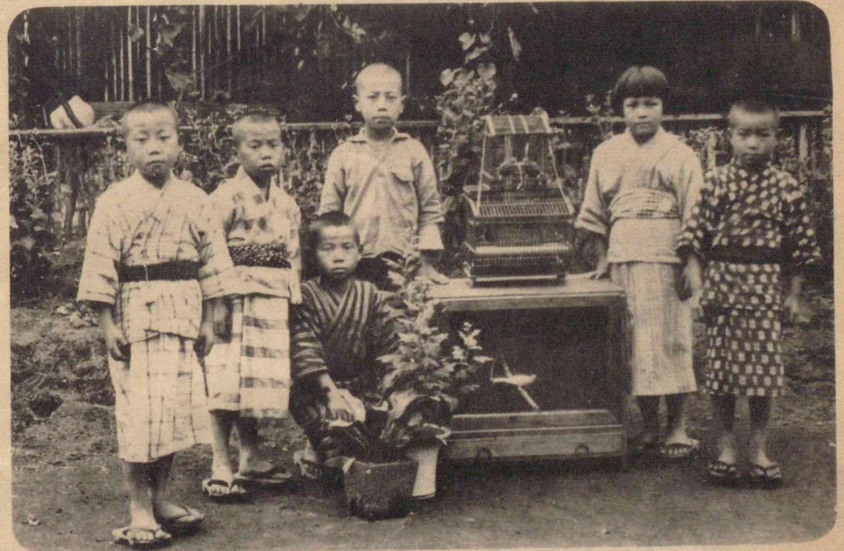
東京高等師範  
學校前教官

水木梢・文學士 稻村玉雄共著

約四百頁 定價貳圓八拾錢 送料十四錢

(好評) 忽廿版

級學活生三尋校學小等高常尋川中郡筑都



(四其)部の培栽園花(下) (三其)部の禽養(上)

發行所

東京淀橋町  
振替口座東京  
七四四二番地

高

踏

社



神奈川縣教育 第二七五號 目次

卷頭言

鎌倉時代の女性……………堀江秀雄……………二

齒科衛生解説……………星谷光雄……………一二

南洋群島トラック教育會から……………一九

湘南の砂丘……………難波精一……………二〇

國史教授の資料……………朝倉重治……………二四

或る日の生活記録……………小林鶴藏……………三二

縣下中等學校の數字科教授に就て小學校教材の

不徹底なる點……………磯崎源藏……………三四

童心遊戲「ジョイ・マーチ」……………小菅一男……………五二

俳句……………五六

小學校理科藥品及整理活用について……………秋元秀雄……………五七

夏季休暇に於ける生活指導……………石井與惣太……………六〇

農村と教育施設との交渉に就いて……………山田三朗……………六四

熊坂鶴松氏卒去……………六五

彙報

東京音楽學校入學試験程度中改正事項……………縣互助會……………新教育研究發表講習會……………第

十二回理科教育夏季講習會……………萬葉夏期講座……………六六





其の素材の大理石たるを畫布たるを問はず、凡そ藝術家が製作に對するの心境は、其の人の品性が高貴なれば高貴なる程、物質的報酬の觀念を全く離れて、只管當面の彫刻なり繪畫なりの完成に慕直するものである。

純粹行！

併しなながら、此の藝術家達にもまして、我々教育者の行は、より純粹であらねばならぬ。

人格と人格との接觸、靈魂と靈魂との親近、我々は、何といふ光榮と名譽と、眩耀をさへも仕事の上に持つてゐる事であらう。

斯の如く精神的に恵まれた我々は、所謂事務を執るの一般官吏とは、自ら撰を異にしてゐて、仕事それ自身が目的なのであるから、必ずしも物質的報酬の増減や、俗世間風の聲望を論ずるの要はないのだ。

である中に祿あり、祿の中に道なしの古賢の至言は、常に我々精神生活者の福音である。

彼ら教育者と雖も肉體を有する以上、衣食住と醫療と娛樂との物質を豊富に獲得せざればと唱道する輩の如きは、未だ以て教育の事業の眞の法悦に味到しない人々と云つて可い。

釋迦の王位を棄てし所以、基督の十字架に上りし所以、孔子の席暖まるにいとまあらざりし所以、さては、ベスタロツチの、フレーベルの、攷々として生涯を終へし所以、我々の先達は、幾つもの芳躅を我々に殘して置いてくれた。

汝の事を天なる星に繋げ！

汎人類の救済、全同胞の抱擁、我々は、我々の車に、もはや何の物質を積まうぞ。

我々は仕事の上に、此の崇大の永遠性を發見して、日夜生命の躍動を禁じ得ない。(吉田生)

我々は仕事の上に、此の崇大の永遠性を發見して、日夜生命の躍動を禁じ得ない。(吉田生)

教案  
中心  
修身教授の實際

修身教提獨立養原理	修身學習指導方針	修身學授案的立て方	修身各級教材教授實際案	勸語教材實際案	童話教材教授案	假話教材教授案	實話教材教授案	訓辭教材教授案	格言教材教授案	作法教材教授案
-----------	----------	-----------	-------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

國家道德指導案	社會道德指導案	個人道德指導案	社會生活指導案	學校生活指導案	補習教育教授案	消極教育教授案	外極教育教授案	婦人教育教授案	偶發人物教授案
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

具體化教學法實際案	討論的教法實際案	構學的教法實際案	演繹的教法實際案	反省的教法實際案	生活化的教法實際案	新式修身教授指	卒業式講話案	終業式講話案	始業式講話案	記念日講話案	祝祭日講話案
-----------	----------	----------	----------	----------	-----------	---------	--------	--------	--------	--------	--------

	訓紳施日實	修身週間實際案	修身各學年規範級授課案
四	專一修身教授實際案	專二修身教授實際案	專三修身教授實際案
	專四修身教授實際案	專五修身教授實際案	專六修身教授實際案
	插繪中心教授實際案	修身復習教授實際案	修身考查實際案
	練習復習指導案		

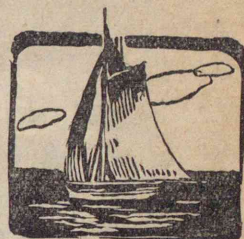
朝日 氏著	朝日・菊地 稻村 共著	田中・菊地 佐橋 共著	鈴木 氏著	朝日 氏著
低學年各科教授法	各科實力増進の秘訣	批評教授の計畫と實際	技能科教授郷土化の實際	實地授業の新しい仕方
¥1.60	¥1.80	¥2.00	¥1.60	
田中 氏著	朝日 氏著	宇野 氏著	稲村 水木	朝日 氏著
實地授業の新しい仕方	發問の仕方と答辯の誘導	學習合理化の原理と實際	幼兒の遊ばせ方と學ばせ方	

¥1.00	¥1.80	¥1.20	¥1.00
-------	-------	-------	-------

振替東京七五四七  
電話四谷一七〇七番

東柏 京木 淀一 橋四 町二 高 踏 社





# 鎌倉時代の女性

國學院大學教授

堀 江 秀 雄

## 一、鎌倉時代初期の女性

## 三、鎌倉時代女性の修養

## 五、鎌倉時代女性の地位

## 二、鎌倉時代女性の硬化

## 四、鎌倉時代に對する貞操觀

近世の思想史上の產物は、女性問題の研究婦人問題の研究にあるのであるが、之は明治の中頃以後の事であつて、其の以前にはなかつた問題である。最近に於て婦人問題の研究は、愈緻密となつて來た。時代と女性、婦人とは如何なるものかの問題は十九世紀末から二十世紀にはいつての社會問題となつた。つまり男子にとまつて、婦人の問題は社會問題として重要な位置を占める様になつたのである。

けだし男と女とは、相伴なつて生活するものであるが、歴史の表にあらはれた所を見れば、男子の權力が女子より強かつた事は争ふべからざる事實であります。然し女子も本務的に其の地位をもつて居たのである。それ故權力から女性を見れば史上の地位は淋しいのであるが、本務的に歴史を見れば其の地位は重要であつたと謂はねばならぬ。

## 一、鎌倉時代初期の女性

鎌倉時代に於ての女性の地位如何といふに、當時女性は相當大切の地位をしめてゐたものであります。面白い語として愚管鈔の中に『女人入眼の日本國』といふ語がある。(愚管鈔は藤原兼實の弟慈圓の著はした本で、鎌倉時代以前のことを書いたものである。)

此の語は龍を畫いて眼を點するから來たのであらふが、其の意味はおそらく女が歴史に眼を入れる即ち日本の歴史は勿論男子の働によつてつくられて行くのであるが、其の中に女を入れる事によつて歴史が立派になりたつたのであるとすることであらう。

この意味から見て思想的に婦人の地位が明になるのであらう。我が國の歴史上神代の時代に天照大神が女性であらせられた事や、天宇受賣命即ち天照大神が天の岩戸におかくれになつた時、其の前でおどつたといふ命が女性であつたことは誰でも知りきつて居ること、其の後神功皇后の歴史上の位置も又重きをしめてゐることは餘りに明瞭のことである。

## 平安朝時代女性との比較

奈良朝から平安にかけての時代に於ての女性を考えるに、この時代特に平安朝の時代からは、史上に於ける女性の位置は抜き去ることの出来ない重要な部面をもつて居る。尤も此の時代は、藤原氏の専横の歴史であるけれども、其の所に必ず働いてゐることに注意しなければならない。一條天皇の頃、才媛の多く輩出したことはたゞ偶然ばかりではなく理由があつたのであります。それは藤原氏が宮廷の勢力を得ようとしたため其の女を入内せしめやうとしたのである。そこで中宮または皇后におたちになる時、たゞ一人朝廷に上るのでは決して勢力が得られなかつたので、こしもとにくさん賢い女が居ることによつて勢力を得たのである。即ち才媛多ければ多い程權力があつたのであります。随つて外戚の父としての權力を持つためには、有らん限りの才媛を求めて侍女官女として、女御、中宮にはべらしたので、到るところ才媛は輩出したのであります。



平安朝時代の婦人として、其の色彩の濃厚なのは大體宮廷乃至は平安京場裡の婦人に限られる。之等の婦人は其の氣風や人情が京都の山川草木の優美にはぐくまれ養はれたので優美であり、優雅さを發揮したが、貞淑の方面から見ればしとやかであつたが操正しいとはいへないむしろ一般に行儀がよくなかつた。

文學的方面の代表的のものは、源氏物語、枕の草紙、日記などで、これ等は宮廷に於ける優雅な點が全般を占めて居るので、戀物語である點の多い之れ等のものを、學校で講義をしても、決して妙な考を起させないですむ。之は前に申した通り、優雅な絢爛の情が全文を通じてゐるからである。かゝる時代の女流は隠然たる勢力を持つてゐたので、之等の著者である紫式部や清少納言や和泉式部の名は歴史上から取り去るべからざるものである。

地方の女性の文獻は、そのはしばしに見えるものもあるが之は低いもので、文化史上に問題にならぬほど都と全然ちがふのであります。

鎌倉時代の初期に於ては、大體に於て平安時代の遺風を持つてゐたので、平家の滅亡する前後を見ると平安時代とあまりかはりが無い。其の頃の著書の平家物語に書いてある「大原御行」を見ても、時代は平家が終つた頃であります。如何にも大宮人が淋しく生活してゐた様が表はれて、物にまで泣かねばならぬ様をよくあらはしてゐるものであります。新古今集に表はれてゐる女流の地位を考へて見ると、その中に後鳥羽上皇の千五百番歌合を書いたものがある。千五百番歌合せとは、左右各十五人づつ歌讀をわけ、其の一人一人が歌をもちよつてその三千首の中から善し惡しを批評したもので、上皇が中心をなされたものであります。女性の地位を考へると、其の三千人中に六人の女がはいつて居ります。其の中最も年が若かつたのは宮内卿といふ女性であつた。この女は十九歳で死んでゐるからこの歌合せの頃は十七八歳であつたであらう。増鏡の中にも後鳥羽上皇が、この女にお力をお入れになつたことがのつてゐる。かうした女性が名歌をたくさん讀んで、男より勝ちを占めてゐる事が中々多い。かゝる點から相當の地位を占めてゐた事が想像されます。其の中で俊成卿の娘や、二條院讃岐（源賴政の娘）は特に名高い。この女性は何れも歌人の娘である關係から歌の出来るのは普通と致しても、宮内卿のやうな家柄のないものが其の名の知られてゐる點を考へて見なければならぬ。即ち、才媛は女流としての地位を決して恥かしめなかつたのであります。

歌人でない人で記憶されてゐる者をあげると、時代を少しさかのぼつて平安末期を見るに、常磐御前が居る。袈裟御前（貞操を重じたがあの人物）、巴御前、靜御前、平政子（鎌倉時代の女性としては一番考へさせられるもの）高階榮子（普通の歴史の本にはないが、女性史には必要な人物で策士で政策に關係し、隠然たる勢力を有つてゐたもので、丹後局といつた）。等特に知られて居りますが、其の他頼朝の娘とか、範頼、實朝の妻などもあげなければならぬ。かうした女性を通觀するに、既に平安時代の女性より少し型がかたいやうである。然しこれは極くわずかである。

### 鎌倉時代女性の特色

特に言ふべきことは、武家的のことが濃厚であることで、武家の婦人とし、娘として其の特色があらはれてゐること、これは女性史から着目すべきことであります。

## 二、鎌倉時代女性の硬化

### 武勇な女性

この時代には勇武な女性が頭角をあらはしてゐる。これは平安時代にはなかつた。この點に於ては巴御前に第一に指を屈すべきものである。巴は中原兼遠の娘で今井兼平の妹である。後源義仲の妾となつた。義仲が都にせめ上つた時共に従つて京に上り、都に於て勢力を得たのであります。今から考へて見て、もし、乃木大將の二〇三高地を攻撃した時、大山大將が満州軍を總指揮する時、婦人が同伴したとするとどうだらう。かう思ふと一寸面白い事であるが、可弱ければ勿論不都合であるが、勇武であつたからそんな感じを持たないのである。巴が如何に勇武であつたかといふに、畠山重忠と一騎打した時、重忠が生捕ふとして、鎧の袖に手をかけた時、巴はかなはないと思つたか急に馬を飛ばして逃げたが、其の時重忠の手に袖が残つたといふ。一重の袖ならいざ知らず、鎧の袖をちぎるも平氣で逃れ去つたとはどんなに力があつたのであらうか。

今一つお話して見ますと、遠江に内田家吉といふ勇將がゐました。此の人は六十人力と稱されて居りましたが、或戰



に三十幾人かの士卒を率ひて巴にむかつた。巴如何に勇武とも百人力をもつてせば捕へ得ることにむづかしいことはないであらうと戦つたが、家吉は一番先にやられてしまつた。こうした巴の働が義仲にもこはかつたのであらうか、戦の際中、巴を國に歸らせやうとした。巴は義仲の命を受けて、泣く泣く歸つた。後義仲が戦死した時、其の勇武に感じて和田義盛が自分の女としたといはれ、二人の間に出来た子が力の飽くまで強かつた朝比奈義秀であるといふ。

當時の男が女を選ぶ第一條件は勇武であることであつて。これは弱い子供はいけない、強い丈夫な子供を得たいためである。巴の話は源平盛衰記の三十五にくはしく出て居ります。

巴と並べて言ふべき女性には、板額御前であります。この女性はいふ所巴より強いとさへ言はれてゐる。時代は巴より後になりますが、建仁元年五月頼家將軍の頃、城小太郎資盛がそむいて越後の鳥坂に據つた。板額は九郎資國の子で、資盛の姪にあたつてゐる。資盛に味方して敵をなやました。其の時の板額は髪を束髪にして童形の如く腹巻して櫓から弓を射るにあたらないう矢は無かつたと言ひます。吾妻鏡の中にも、「女性の身なりとは雖も、百發百中、殆んど父兄に越ゆ」と書いてあります。信濃の藤澤清親が越後山の上から板額を射た。其の一矢の爲め左右の股を射通され、さすがに板額も如何とも出来ず、清親の郎等の爲め生捕にされた。板額捕はれて後資盛の軍振はずなりしと言ひます。一女丈夫よく全軍の勢を持ちこたえて居たかが知れます。後送られて鎌倉に到りました時、將軍頼家が一見したいといふ。見れば顔は美しくない、然るに淺利興一義遠は乞ふて、板額を己の妻とせんとしました。頼家興一に對してどうして妻にもらはんとするかと聞きますと、『雙力の男子を生ましめんとする爲めである』と答へてゐる。

平政子もなかなか強い女であります。多角形であるから色々の方面から眺めて、お話しなければなりませんから之は後に致しまして、其の後醍醐天皇の御代の、瓜生保の母も其の一人である。新田義貞が北陸に於て義兵を擧げました時、保と其の弟義鑑は義貞に味方しましたが、足利氏の軍と戦つて何れも戦死した。保の母は一時に二子を失つたので悲しんで居るかと思へばさうではなく、早速義貞のもとに行つて、自分の二子の戦死したことを詫びて、尙三子あれば御供にさしあげんと義貞の軍を激勵して居ります。

### 貞烈なる女性

平安朝時代にはなかつたのですが、此の時代の現れとして、次に貞烈なる女性を擧げやう。

袈裟御前について——、これは高山氏の作によつて世に知られてゐることですが、婦人は源渡の妻で、姿が美しかつただけでなく貞操を重んじた婦人として知られてゐる。ある時遠藤盛遠といふ腎力のすぐれた武士が途中でこの婦人をみそめて、其の母が自分の叔母である事を幸として、叔母に説いて自分の妻にと強制した。

叔母もどうすることが出来ないで袈裟御前に話したが承知しなかつた。尙叔母から強くいはれたので、それでは夫の渡を殺してくれば妻にならう、其のために今夜渡の髪を濡して標としておくから渡を打つてくれる様にと頼んだ。盛遠は私かに入りこんで、めざす首をあげ喜んで外に出て見れば渡の首でなく袈裟の首である。盛遠は驚いて渡のもとに行き、罪を詫びて自分は僧となりました。之が即ち文覺上人である。然し貞操を守ることが女の特色である。現代は勿論のこと今後の女性にも常に強く話したいことである。

次は政子の事であります。政子は強い人ではあつたが、決してむちやくちやをする人ではなかつた。當時男子は貞烈を守らなかつたが政子は頼朝に貞淑を守つたのである。

始め頼朝は伊豆に流された時伊東祐親のもとにゐたが、祐親の娘と結んで子供が出来た。祐親は之を知るや平氏に知れることを恐れて、頼朝を追ひ其の子を殺した。頼朝はたゞちに北條時政を頼つた。胸に一物ある時政は、頼朝の後に爲す有るを覺つて大切に世話をした。時政には二人の娘があつたが其の姉の方が政子である。或る時妹が、鍵を喰へて鳩が八幡様に行つた夢を見た姉に話した。政子はそれは悪夢である、夢は賣ればよいと言はれて居るから私が買つて上げやうと相談が一決した。後で、それが頼朝であつたとは知る由もなかつた。治承元年頼朝は政子と通じた、政子は鎌倉時代の鍵を握つた。もしこの女性が現はれなかつたなら、歴史は或は他の方面に轉廻したかも知れない。正式に結婚したのは政子が年二十二であつた。治承四年十月頃鎌倉にやつて來た、頼朝が薨する迄二十三年間も夫の爲に盡した歴史は非常なものであります。政子が貞烈であつたといふ事實談は多く残されてゐる。彼の靜御前が捕へられて鎌倉に送られた時、靜は有名な白拍子であつた所から、八幡宮で舞をまはさせられた。靜は場所柄をも考へず、



吉野山峯の白雪ふみわけて

入りにし人の後ぞ戀しき

しずやしずしずのをだまきくりかへし

昔を今になすよしもがな

と、夫の罪人であるを忘れて之をしたふ心を歌にあらはして舞つたのであります。頼朝は之を聞いて非常に不氣嫌であつたが、政子は頼朝を宥なめて言ふのに、夫をしたふは貞烈この上もない事である。あなたが石橋山の戦に敗れて姿を匿した時の心の中を考へる時、靜の今の身の上と同じである。靜が夫をしたふのは女の道であつて賞すべきであると言ひましたので、頼朝も仕方なく怒る心を押しめて、褒美をやつたのであります。

今少し後になつて阿佛尼（十六夜日記の著者）が居ります。文藝の上に於て名を知られて居るが、この名著の出来たのも、實は爲家の後を立派に相續させたい處から訴へるため鎌倉に下つて來たのであります。この困難を冒してやつた事は貞烈でなければならぬ。

身分の低い女性としては千手前が居る。頼朝の腰元で、もとは遊女であつた。母は白河院の長者の娘といはれてゐる。平家の嫡流重衡が生捕られて鎌倉に來る時、頼朝は重衡の旅を犒らうに千手前を以てした。千手前は重衡を道にむかへて之を世話をしました。後重衡が死んだと聞いた時悲み感じて自害しました。それはたゞ重衡がお氣毒であるとして死んだのである。兩性的の關係がないのに死んだのは貞烈でなければならぬ。其の時いつしよに遣はされた女に伊女といふのがゐた。それは斯んな事はなかつたのである。

次は新田四郎忠常の妻に就いてであります。夫が病氣にかゝらぬ様にと、三島明神を祈つてゐました。夫が病氣に罹つてなほらない様な時、もし命がいりやうなら自分の命を差し上げるから夫の病をなほしてもらいたいと、夫にかはつて死んだ。これ等は皆如何に當時の婦人が貞烈を重んじたかを示したものであります。

## 策動する女性

策動する女性は何なる時代が生むかと言ふと、政治上の大變化の時であります。

第一にあげますのは高階榮子、即ち丹後の局のことである。榮子は章尋といふ僧の娘で、始め相模守平業房の妻となつたが、夫がなくなつてから後白河院の宮中に入り、丹後の局と稱したのであります。寵愛を一身に受けた爲め、大宮殿、近衛殿等は寵愛を失つた。後白河院のため、宣陽門院を生みまつりました。當時朝廷に於ては藤原兼實が権力ありましたが、榮子は之を排斥して源通親を擧げ用ひられんことに力を盡した。通親は後内大臣或は右大臣となつた人で今の久我氏の先祖であります。通親の妻の範子は、始め能圓の妻であつたが其の時在子といふ女を生んだ。そこで其の在子をたてゝ宮に入れ、後に後鳥羽院の宮中と致しました。當時兼實の娘任子が後鳥羽院の宮となつてゐましたが、その後をおそつて中宮となり兼實を逐はんとしたのであります。

一方頼朝に對しては常に朝廷の様子を知らせて居りました。源通親は源氏であつたとはいへ、之は久我源氏であつて清和源氏とは全然異ひます。頼朝には二人の娘が在つた、長女を大姫君と言ひ、初め義仲の子義高の許嫁となつて居たが、後義仲と頼朝と不和となり、義仲滅ぼさるゝに當り義高も殺されたが、時に年十二歳であつた。大姫君は七つであつたが、其の後憂鬱症になつた。政子も非常に心配して之を治さうとして宮中に入れやうとし、丹後の局を頼つて之を成就せしめやうとして局を大切にしたのである。或時頼朝が奈良の大佛に參詣しようとして出かけた途中丹後の局を訪ね、砂金三百兩、白綾三百反を土産とした。然し之は頼朝の考でなく政子の策動であらう。大姫君は事のならざるに先だちて十七歳で死んだ。そこで頼朝は次女の乙姫を入内せしめやうとしたが病氣に罹つてしまつた。頼朝は非常に心を盡したがその甲斐もなく年十四歳でなくなつた。在子は之より少し前に後鳥羽院の宮中となつて居ります。

次に政子についてであります。之も策動家と見てもよい。源氏の勢力が北條氏の實權に移つたのも政子の策動が大であつたからである。

次は、牧の方についてであるが、之も坪内博士によつて戯曲につくられて居りますので名高い。牧の方駿河國駿東郡大岡牧に生れ、宗親は其の父であります。長じて時政の後妻に入り、娘を得て、平賀雅朝の妻としました。先妻の子は



畠山重忠の妻であります。雅朝は源頼義の六世の孫にあたつてゐる。牧は時政と相談して實朝を殺し雅朝を將軍にしようとしたが、この計は漏れて時政は遂に失脚して伊豆に走り、事成らずして終つた。斯うして擧げて來ると幾人もあるのですが、今はもう時間がありませんので、たゞお話致さうと思つた要項だけを左に述べやうと思ひます。

### 三、鎌倉時代女性の修養

#### てしと妻の人

貞烈なる人物は之に當ります。子供である大姫君は妻としての修養が出來てゐた。之は政子の家庭教育のよろしきに依るものでありませう。

解放を叫ばれる現在に貞操が輕んぜらるゝは家庭教育の衰へたるしである。子供を教育するにあたり引締める點に注意すべきであります。

鹽治判官高貞の妻、これは忠臣蔵の劇として誰もが知つて居ること、高貞の妻を高師直の横戀慕した話ですが、之は太平記二十一に悉しく出て居ります。

承久亂の起らんとした時、土岐頼員の妻は自分の夫の行動を敵なる自分の生家に内通したが、之はよくないことでありまして、實際の貞節でない。夫のために盡す——この一直線であつて始めて道であると謂へる。

人の母としては 阿佛尼、北條時頼の母、楠木正行の母、瓜生保の母をあげます。

歌人として 千五百番の歌合の六人の女を擧ぐべきである。即ち俊成の娘、二條院讀岐、宮内卿、待當のこじじゅう丹後局、越前局をあげる。

#### 遊藝者とてし

靜御前は白拍子即ち遊女でありながら、頼朝の前に出て、たゞちに歌をつくつて歌つたことは、文藝の修養があつたことが知れる。之は、吾妻鑑に載つてゐるから、明瞭に歌つたのであらう。義經の子を腹に持つて居たので生まれるまで鎌倉に逗留させた。靜に對しては生れた子供が女なれば汝に與へるが、男なれば殺してしまふと言渡した。靜は生れ出る子供が女なれかしと願つたであらうが。望はかなはず男が生れた。安達新三郎

は子を受取りにいつたが渡たさなかつた。其の時母の磯禪師が心を鬼にしてもぎとつて渡した。子是由井ヶ濱で殺された。靜は今ではせん方なく泣く泣く京都に歸つた。これによつて見ても人格的の修養のあつたことが知れます。

清盛の盛んな頃、遊女の祇王祇女が其の前で歌を歌つたと言ひます。

千手前が重衡の前で和漢朗詠集を歌つたこと、横笛が瀧口入道に歌を讀んだこと、何れも平家物語に載つてゐるが、遊藝人の修業が相當高かつたことが察せられます。

### 四、鎌倉時代に對する貞操觀

貞操に對する觀念は社會制裁によつて高下する。

◆男性に對する觀察 男は貞操を缺いてゐた——一夫多妻が行はれた。

◆女性に對する觀察 女の貞操觀は割合に高かつた。

◆風俗上よりの觀察 貞操を持ち得たことは平安時代にくらべて大書すべきことである。

◆文藝上よりの觀察 價值のないものが多く出て居る。徳川時代に鎌倉時代のことを書いたものには、扇谷熊谷、平假名盛衰記、北條時頼記、歸一方眼殘虎の巻、御所櫻夜討卷、義經千本櫻等がある。かうしたものを研究するも又一方法であらう。

◆法律上よりの觀察 當時の法律が結婚、姦通、再婚をどう取扱つたかを見ればわかる。

### 五、鎌倉時代女性の地位

そんなに高かつたとは思はれないが、修養ある女性は男子に譲らなかつた。女子の修養が初めて其の地位を高めるのである。

女子が男子に賤しめられたことは、僧侶が女からはなれて居たからで、眞鸞上人が僧の肉食妻帯をゆるした（御傳鈔にのる）事が、女の地位を高めるものとなつたのである。

尼將軍の活躍も牧の方の陰謀も、皆女性の地位の高められたことを語るものである。





# 齒科衛生解説

茅ヶ崎 東京醫學士 星 谷 光 雄

## 序

元來學校醫は疾病の豫防に重點を置いてゐた様だつたが學校齒科醫は氣防、教育、治療の三つを遂行するのが合理的であると稱されて來た。殊に治療問題は從來は極めて閑却されてゐた傾向があるが、今後どうしても此の方面に深く進入する事が、そして、せしめる事が學校齒科施設を意義あらしめるものである。學校に於ける診療の實際に就いては其制度に依り豫算に依て異なるのは勿論だが其の診療は豫防的診療を主とする事が必要である。そして學校齒科醫の學校に於ける場合の診療といふべきものが行はれる。

それで、齶蝕の治療ならば六才臼齒を中(一)として初期にある病變の程度のものゝ範圍として齒髓(所謂齒の神經)の處置は一般臨牀齒科醫に送る。それから交換期に於ける乳齒の處置をする。特に永久齒萌出に支障を來すべき不良乳齒の拔去は學校齒科醫のすべき事であり又尤も簡單に出来ることである。だから、其の設備も如上の要件を満たす様な状況のものが必要になつて來る。消毒の裝置一式と二、三簡単な器械器具を以てして低廉なる學校齒科診療所(又は室?)を設けるに慾を云へば限らないが比較的僅少な金額で何とか出来る様にも思はれる。上述の事は必ず考慮に入れて設けられな

いと相互の迷惑であり不幸である。その設備費は三百五十圓乃至六百圓である。この中最も高價なるものは治療椅子で藥品及び消耗品の如きは大約五十圓内外を投ずれば充分である。此の校内齒科診療所の輕々に看過し得ない事は前號本誌上に發表した通り小學校時代がその生涯に於ける口腔保健を支配する時機だからである。結核の豫防上有意義である事や教育能率の向上の關係は先驅者によつて相當その重要性が一般に認めさせられてゐる。

衛生教育の目的は智識を與ふると同時に之を實行せしめて所謂保健習慣を涵養するにあると思ふ。口腔衛生教育に於ても齒ブラシ使用法や洗口法を實演させる事によつてその目的が達せられる。洗口法の様な簡單なものでも次の様な事で平素の口腔清掃の重要さが解るであらう。即ち、獨逸のメエラーがシャルロットテンブルグ市學童二百四十七人を検査した。その中健全肺の兒童四十一人の齒牙沈着物中に結核菌を有するもの六人(一四、六%)、肺を病める百八十二人の兒童では齒牙沈着物中に結核菌を持つものが三十五人(一九、二%)で、健康者と肺結核患者との比率が極めて接近してゐる事を示してゐる。口腔の不潔なる事が偶然的に體外より結核菌を取入れてゐる事が證明されるのである。尙之れに附加して咀嚼法の訓練も必要である。

中心感染又は經齒的臟器障礙と申します。

原因不明の病氣が齒の病氣から起ることが多いといふ事は近來注目せられつゝある問題であります。身體の一定部位に慢性的病氣のある患者の口腔をX線で診査すると齒の周圍に慢性的病氣があることが解ります。その病氣のある齒からとつた細菌を培養すると常に連鎖球菌を證明するのであります。是を試験動物即ち、兎、犬、モルモット、鼠等に注射するとその患者の病氣と同一の病氣が試験動物に發生するのであります。一般に細菌性疾患の因果關係を證明する尤もよい方法は患者の病竈から分離培養した微菌を以て試験動物に其の患者と同一の病氣を起さしめる事が確實な方法であります。

一體どんな全身病が惹起されるかといふと次の通りであります。

運動機關——關節炎、骨髓骨膜炎、筋肉ロイマチス  
呼吸器系統——副鼻腔炎、扁桃腺炎、肺炎、肋膜炎  
循環系統——心内膜炎、心囊炎、心筋炎、動脈硬化  
血液及造血臟器——貧血、全身性貧血、膿毒症  
泌尿生殖器系統及眼——神經炎、神經衰弱、回

## 一、齒牙中心感染問題

フレーゲル氏が次の様な事を云つてゐる。肉食に於ける咀嚼不完全是健胃に對して大なる影響はないが胃酸減少症には惡影響がある。又植物性食品に於ては齒牙による粉碎は大なる意味を有し咀嚼が不充實なるものは胃液の分泌が極度に減少し消化に惡影響を及ぼすものである。特に之は榮養神經系の障礙に因つて不健全なる胃の所有者に見られるものであるといふ事である。是に依て察するに植物性の食品を以て主食とする日本人に於ては其の榮養問題として重大な事であらねばならぬ。

上述の如き理由の下に「齒科衛生」の解説を試みる次第である。斯の如き拙い一篇が何かの機會に教育家諸賢の利用に遭つたら望外の幸福である。推稿も重ねない書き流しの原稿ではあるしプロフェッショナルスタンダードポイントよりしても叙述面白からぬものがある。今後の御指導と御叱正とに依て訂正創補したい念願を有する事切である。

御示教を賜る方は茅ヶ崎町宛に御書信を願ひ度う存じます。

デフテリ―菌が咽喉を侵し、肺炎菌が肺臟や肋膜炎を侵し、チブス菌が腸や脾臟を特に侵すといふ様に或る種類の細菌は或る一定の組織だけを侵す特性を持つてゐます。齒の病氣を起す所の連鎖球菌であるとか葡萄球菌であるとかいふ細菌も亦、是れと同様な限局選擇性と名付けられる病原性を有して居ります。故に斯様な原理で齒の病氣から種々な全身病が起され得るのであります。是を名付けて齒牙



## 消化器系統

歸性虹彩炎  
胃潰瘍、十二指腸潰瘍、肝臓炎、  
脾臓炎

齒根や齒根周圍に急性の炎症がある場合に其處から分離した細菌を動物に注射すると細菌の毒素が全身に擴がり遂にその動物は斃れる事があります。屢々齒の病氣から一命を落すといふのは齒から細菌が全身の血液の中に入つて敗血膿毒症を起すからであります。即ち齒の病氣があると血液に變化を生じて來るので其の變化は血球を溶解して身體の抵抗力をして減退せしめるのであります。

ヘーデン博士は原因不明の心臟病の際に於て齒からの連鎖狀球菌を證明して、それを家兎に注射した結果、定型的心臓内膜炎と心筋炎とを發生して死亡したといふ事を發表してゐます。

腎臓結石のある患者の齒から培養した連鎖狀球菌を動物の齒に感染せしめた場合には其の試験動物の七五%に結石を作り、八五%に腎臓炎と結石とを發生せしめる事が出来るのであります。

胃壊瘍や十二指腸潰瘍の事は一般にも云はれてゐる所で

ロゼノ博士は詳細な研究を發表して居ります。種々と前述した様な所からロイマチスが起りますことも明かであります。齒と眼との關係もその位置的關係からして諒解が出來ます。ヘーデン博士は結膜炎や硝子體炎が起ると云つて居ます。

米國ニュージャージー州立精神病院長コトン博士は狂人が屢々齒の病氣が原因してゐて、その齒を治すと精神病も治るといふ事を云つて居られます。是等の事によつてあたかも發育期にある學童に齒の病氣が多いことは將來、頭腦の發育に關して考慮すべき問題が展開されるであらう。齒の病氣から全身性疾患は前述の如くに惹起され又關係づけられるのであります。その昔、アツシリヤの王様が病氣になつてそれが容易に癒えないので待醫に治療を命じました。そこで待醫はその療法を認めて之を提出いたしました。それには王様の頭足胸等の病氣は齒の病氣が原因となつてゐるから先づ齒を癒す様に書いてありました。之は歴史家アルムステッドがニネベなるアシラムで發見した記載で二千六百年前丁度奈良の都の出來た以前の事であります。

## 一、齲蝕問題

齲蝕に關する叙述は前號若干述べて置きましたが尙補つて見ます。

一體ムシバはどの位の頻度に齲まされるかどの位苦痛が甚しいかは所謂「寝ずに苦しむ」といふ様なテクニカルターム?を造つてゐます。其の發生率が九〇%である事は周知の事實ですが次の表を示して見ませう。

## 日本全國八校平均表

幼稚園兒	男 九三、七%	女 九六、一%
滿二歳以下乳兒	男 八二、〇%	女 八二、〇%
日本全國四〇校平均	男 八〇、〇%	女 七七、〇%
中等學校生徒	男 八二、〇%	女 八二、〇%
日本全國十七校平均	男 八〇、〇%	女 七七、〇%
壯丁及軍人	男 八二、〇%	女 八二、〇%

小學校兒童の齲蝕罹患率は都會と田舎では非常な差異が見られるのであります。東京市の兒童は男九五%、女九六

%で高田市では男八五%、女八九%であり更に内地と朝鮮とでは平壤で男六八%、女七一%であります。如何な種類の齒が最も多く齲蝕になるかといふと矢張り第一臼齒即ち六歳臼齒が最も多く早期に喪失してゐます。そして尙此の早期喪失が食物の咀嚼能率に及ぶ影響や齒列の不正や或は顎骨の發育に惡影響を及ぼす事項などが見られるのであります。前述の都會と田舎とで異なると申しましたが米國人では健康な第一臼齒を持つてゐるものは僅に九、七%であつて之を日本に比較すれば約五倍であります。齲蝕に最も罹り易いのは第一臼齒でその第一臼齒の咬合面即ち食物を咀嚼すべき部位が最も多く齲蝕に狀されて、この咬合面の齲蝕は日本人では他の四面の總和の九倍を齎して居ます。そして第一大臼齒の齲蝕は年齢の増加に伴つて増加してゐるのであります。従つて六歳臼齒の強制的な處置が望ましい理由にもなつて來れば學校齒科診療所が必要であるといふ事になつて來るのであります。身體軟組織は傷けても又元の様になほります。けれ共齲蝕になると亦元の様にはなりません。木の葉は散つても春になると芽がふきます。けれ共齒は抜けるともう一度出て來ないのであります。齒の抜けた老年者の顔貌は變つて居ります。それは吾々は顔面の



下半部を可變性區域と呼んでゐます。此の可變性區域が小兒では殊に大きいのであります。子供の時代に齒が抜ける事は前述の咀嚼や齒列や顎骨の發育ばかりが障碍されるのみならず顔貌の不平均を來して終ふのであります。美醜ばかりでなくて頭蓋骨内部の腦髓にまで悪影響を與へます。

齲蝕に對する豫防充填は天然痘に對する種痘の如きものであるとはハイアット教授の主張であります。同教授の主張は齲蝕を豫防する爲めに齒牙の咬合面にある小窩、裂溝等を切開して充填せよといふのであります。之に賛否の説が少くないのですが少くとも齲蝕の早期手術といふ事は望ましい事であります。

### 三、營養問題

生物は太陽の光りに照らされないと完全に發育致しません。日光を浴びない小兒は齒の發育が悪いのであります。齒の石灰化にはビタミンDが必要であり日光にはビタミンDを同様な働きを持った紫外光線があります。日光に當ると紫外光線が皮下組織にある脂肪類やその部分の血管中にあるコレステリンをエルゴステローに變化せしめ之が全身に循環して齒や骨に達し石灰化作用を起すのであります。

食後に香味のある果實を喰ふ事は直接間接の清掃作用をなすのであります。そのみならず唾液はアルカリ性反應を呈するから口腔内の酸を中和するのであります。

柔くて粘着性があるもので齒の表面に膠着し易いもの餅や飴やキャラメルのようなものは食後の注意が必要であります。それから、口の中で醗酵して酸を作るものは齲蝕を發生し易い性質を有して居ります。豆類は總ての食品中最も酸を作る率が高く米飯、穀物、野菜が之に次ぎます。石灰質を含んだ食物を母親が攝取する事は胎兒の齒に影響を與へるもので齒の發育と齒の衛生は人生の第一歩妊娠をスタートして同時に出發すべきものであります。胎生後二ヶ月、胎兒の大き約四握の時に既に齒は生えるのでありますから婦人の責任は重且つ大であらねばなりません。更に又、日本人の主食物である米、其他パン、砂糖菓子等は停滞性が著くて醗酵し易くて調理にも相當の注意が拂はねばなりません。

### 四、齒槽膿漏問題

朝起きたときに鏡を御覽なさい。齒齦を壓へた時血や膿が出ませんか？。齒齦から血や膿が出て齒牙の弛緩動搖を

故に日光浴をする事は全身を健全に齒を丈夫にする事になり又はビタミンDを喰べたと同様な結果になるのであります。紫外光線にさらされて生活してゐる南洋の土人は健全な身體と丈夫な齒を持つてゐて齲蝕にかかりません。又反對に北極に住むエスキモー人は常に脂肪殊にビタミンDに富んだ自然食を攝つてゐる爲に非常に丈夫な美しい齒を持つてゐる殆んど齒痛といふ事を知らない状況だといふ事があります。此の生活様式に因由する中で飲料水の適不適も亦齒の發育に關係を有するのであります。米のコロラード北西テキサス、伊太利のナポリ、我國の岡山縣の或地方の住民は齒が特に悪い事が報告されてゐます。

纖維に富んでゐる食物、肉類、野菜類等は齒の表面を摩擦するから齒が自然に清掃されます。食後に澤庵や糠味噌漬を喰ふのは齲蝕の豫防効果上大きなものがあります。漬物は滋養價はないが纖維に富み酸性的の香味があつて唾液の分泌を促すから直接間接に清掃の役目を演ずるのであります。洋食の後で果物が出ます。是は漬物の場合と効果が同じなわけであります。

唾液は自然が與えた口腔内の清掃劑で朝食前に梅干を喰ふ事は食欲を起さしめ消化液殊に唾液の分泌を促します。

來す病氣それが即ち齒槽膿漏でありますそして齒槽膿漏の豫後は乍遺憾齒牙の脱落であります。

齒槽膿漏には三型があります。第一は齒齦が増殖して齒冠を被つてゐる状態で齒齦を軽く壓迫すると膿が出て來るもので青年期の人に見られるものであります。花恥かしき少女も朱唇よりもれるべき皓齒で初めて美人であります。暗紫色な膿汁を含んだ齒齦、それがましてや増殖してゐる型を示すのなどは何としても歡迎出來難いのであります。第二は齒齦は普通の位置で齒の植立してゐる骨が破壊が著しいものであります。齒齦を壓迫すると多量の膿汁が漏出致します。第三の型は齒根が著く露出するもので老人に比較的多いものであります。

齒槽膿漏の病原菌は連鎖狀球菌、葡萄狀球菌、口腔スピロヘータ、口腔アメーバ等で口氣惡臭の原因をなすものはトレボネーマ、ムローズムであります。

口腔を清掃しない人には齒垢や齒石が沈着いたします。齒垢の成分は食片と唾液素と細菌との塊です。齒石は齒垢に石灰分が沈着して石の様に塊つたものです。是等のものは齒齦を傷けて細菌を繁殖せしめる爲めに齒槽膿漏の原因になります。朝起きて洗口する時に血が出るのは齒槽膿漏



の證據であります。齒垢や齒石が沈着しない様な清掃方法をとる必要があります。

次に齒石や齒垢の外に金冠が又その原因の一をなすことでもあります。實際的立場からも動物試験の結果からしてもそれから外觀の美からしても金冠を装着する事は慎しまねばなりません。文明人が健康な齒に金冠を被せる事は野蠻未開の人々の遺風です。眞珠の様な齒が最も美しいのです。東京齒科醫專附屬病院長花澤博士、保存部長西村博士、外科部長遠藤博士などは金冠の濫用は齒科醫學乃至齒科醫術の一大冒瀆であり、有害とか無害とか論するのは今更ら愚劣の至りだと説明して居られます。

次に齒牙の排列が亂れてゐると顔が醜くなる外に過重な壓力を負擔する時又は齒が咬み合はない時は齒の植立してゐる骨に變化が起ります。そして此の變化は膿漏に罹り易いから齒列矯正をし度いものであります。又齒が抜けたら義齒を入れて咬合状態を生理的にしたいものであります。

## 五、豫防の具體的方法

常に流れる川は常に清らかであります。同様に常に洗はるる口は常に清らかであります。齒科衛生の根本は斯様に

簡單明白であります。簡單な事程人の注意を惹く事が少くて忘れ勝ちになる事は残念な事でもあります。齒科衛生の信條も今少し複雑であつたならば九十何%が齲蝕になる現在の悲境も或は少しく緩和されたかも知れないのであります。然し、常に洗へ、何といふ此の言葉の曲のなさ!!。

若しも齒を磨く事が一日一回以上出来ない事と假定するならばそれは夜寝る前に磨くべきであります。朝一回磨くだけならば以後三回の食事、その間の間食、それに依て出来た食片、齒垢を齒間、齒と齒齦の間、咀嚼面等に附着したままで寢につく事になるのであります。夜の口腔は細菌にとつて絶好の労働時間たる要件を具備してゐます、唾液の流出は少く、細菌の運動を妨害する唇頰の運動は少く、又暗く暖く無上の樂園であります。従つて病變の進行速度は恐るべきものであります。

夜寝る前、朝起きた時、又食後の齒磨きの外に洗口（含嗽）なる重大なる豫防策があります。之は口に含んだ液體に依て器械的に口腔清掃をするものですから空瓶を水で洗ふ時と同様に液體の運動をさせなければなりません。其爲めには唇、頰、舌の諸筋肉を充分に動かして液體が各部にぶつつかる様にせねばなりません。

清掃の材料としては齒磨粉、ブラシ、爪楊子、フロスシルク、水はみがきがありますが特に大切なのは齒磨粉と齒刷子であります。齒磨粉は粉が荒くない齒や齒齦に損傷を與へないもので爽快なものを選擇いたします。齒刷子は理學的に清掃するものである事が必要です。無消毒で店頭にさらされてゐないもので舌かきのないもの、柄は牛骨製で外側にそつてゐるもの、毛の硬いもの、毛束の間がすいてゐるもの、毛列尖端の長いもの、適當の大いさのものでなければいけません。

次で大切なのは清掃の方法であります。齒を磨くのは化粧の一部ではありません。豫防齒科の爲めであります。齒の前面、背面、齒間、咬合面あらゆる部分を丁寧に齒列にそつて上下に齒刷子を動かします。

更に、食物を噛む事も亦その任にあづかります。咀嚼に依て生ずる力と運動とに依て齒を支持する組織を健全に導き、又流出の豊かになる唾液と、口腔諸筋の運動と、或る種の清掃性の食物とによつて自然の清掃が行はれるのであります。

常に流るる川は常に清らかなり、常に洗はるる口腔は常に清らかなり。洗へといふつた是丈の言葉の短かさよ、曲のなさよであります。

## 南洋群島トラック教育會から

### 教育參考資料としての寫眞帖

記

一、寫眞は椰子の各種類及果實、パンの樹及果實、マンゴの樹及果實、タコの樹及果實、パイヤ、バナナ、パイナップル、ヤシ蟹、珊瑚礁、端舟、漁獲振り、無踊、期製、家屋等一般土人の生活狀態並に風俗公學校及教育狀態、教會の状況、諸官署、風景其他參考となるべきもの等きやびね版約六十枚説明附。

一、寫眞は教授參考資料として特に實際教育家の蒐集選定したるものなり。

一、寫眞帖は壹部實費金貳圓の豫定。

一、申込はなるべく六月十二日頃横濱出帆の汽船に間に合ふ様差出され度し。

一、送本は本年八月頃の見込、實費は其際申受く。

一、申込所は南洋群島トラック諸島夏島公學校内トラック教育會宛のこと。





## 湘南の砂丘

高座・寒川 難波 精一

普通湘南と云へば三島半島の先端より逗子鎌倉を経て藤澤、大磯、小田原に亘る相模灣に沿ふ地域を稱しますが、私はこゝに狹義の湘南地方を設けて、湘南砂丘地帯を（藤澤より平塚に至る約十五軒）假想いたすことにします。この海岸地域は。

- 1、氣象が南海式であること。
- 2、風光が美しいこと。
- 3、帝都に近いといふこと。

等より都市市民の休養地になることは、當然であります。今この休養地域を左の五區に分ちますこととします。

### A 遊覽を主とする地

名所舊蹟に富み交通網發達して人口密度の局部的に大なる地、江の島、鎌倉。

### B 休養を主とする地

閑靜にしてかつ氣象狀態の特に良好なる地人口の密度

小、鶴沼、茅ヶ崎、大磯、小田原。

### C 療養を主とする地

七里ヶ濱海岸、茅ヶ崎（南湖）、平塚海岸の一部。

### D 休養と療養とを兼ねる地

鎌倉海岸。

### E 休養、療養、遊覽に適する地（温泉地）

右五區に分ちて考へますに、五區の内四區までが狹義の湘南に包含されて居るのに氣づきます。即ち九十九里濱と共に我が國にて稀れに見る砂丘地帯に介在して居るのであります。こゝで私は「湘南の砂丘」と題して愚見をのべさせて頂きます。

### △砂丘

それはその存在する位置によりまして内陸砂丘と Continental dune 海岸砂丘 Coastal dune とに分ちます。いづれも砂が風力によりて堆積せしめられたる小山でありまして、高さも十米より六十米に至るのもあります

勿論湘南のは後者の海岸砂丘に屬するものであります。

この海岸砂丘は形が不規則でありまして概ね堤の如く延び多く海岸線の方に並行して居ります。又この砂丘は固定砂丘と移動砂丘とも區別出來ましてこの移動に對して大なる關係を有するは植物の繁生であります。植物の多い海岸は砂丘の移動が少いのであります。故に砂丘のよく發達したる海岸ではその移動を防ぐために松其の他のものが植林されてあります。吾々が湘南砂丘帯を通ります時車窓の西側に見える砂丘を被ふ松林、松並木は即ちそれでありま

す。この松林の所々には草葦の農家が街道に沿つて昔の東海道の俤を残して居ります。一方南側の海岸には砂丘の蔭より赤や緑の文化住宅の屋根が望まれます。この兩極端な風景も長閑な風光と氣象とに包まれて共に調和した靜かな景色となりまして一層砂丘地帯をして美しくして居るのであります。

この砂丘地帯まで東京驛から一時間であつたとはこの地帯の具備する自然の特質と共に文化的價值を大ならしめる有力なるものであります。今これ等の砂丘を相模川を距て、東西の二群に分ち簡単に記すことにします。

先づ東岸のものを東部砂丘群、西岸のものを西部砂丘群と稱することといたします。

### △東部砂丘群は

これを細分して三つとします。

一、藤澤驛の北方より相模野臺地傾斜地塊の崖下にほゞ東西を走るもの、北部砂丘。

二、現海岸線に沿つて前者とほゞ並行する新砂丘列、南部砂丘。

三、兩者中間にあるもの、中間砂丘

以上三種に分ちましたが（三）に屬する砂丘列は現海岸線に對して並行性を示さず、即ち東西に走らずこれに斜交する南北に近い方向を取つてゐます、又西茅ヶ崎辻堂附近にてはこの中間砂丘は東北より西南の方向を示してゐます。故に藤澤驛を發車した列車は西走するに従ひ線路に沿ふ砂丘を斜斷してゐます。

砂丘は處々に蒲鉾形の断面を露出して居ります。之は容易に車窓より見得るのです。

一方臺地を刻んで南流する境川、引地川の下流は東北より西南の中間砂丘に壓迫されて東へ東へと屈曲する狀況が見へます。境川を超へた砂丘は鎌倉丘陵群東部の斜面に乗りかゝつて之を被ひ或は小丘を超へて谷の中に入るのもあり



ます。

東部砂丘群は全體として東西に九軒南北に約五軒の幅を有して居ります。最高は北部砂丘で藤澤附近は三十二米位を示して居ります。

しかし一般には十米より十五米の起伏を示して居ります。

南部砂丘以外は固定砂丘で美しいうねりの上には松林があり、又畑地として耕されて居ます。水田は僅に河川の沿岸に發達するのみです、土壌が砂質であります關係より甘藷野菜西瓜等が主として栽培されます。

平和に見える砂丘上の農家も時代と共に經濟的に目ざめ近く控へる京濱の大市場の供給地たらんとして居ります。

### △西部砂丘群 細分して四つとなします。

一、平塚附近のもの、東南砂丘。

二、海岸に新しいもの、南部砂丘。

三、海岸より六軒も奥地のもの、北部砂丘。

四、三者の中間に介在するもの、中部砂丘。

平塚附近の東南砂丘はほぼ東西の方向を示し僅に北に彎曲する砂丘列として發達して居ます。南部砂丘に近づくにつれて彎曲の度を減じてゐます。北部砂丘（中郡豊田村）とこれ等の砂丘との間には互に並行する數列の砂丘列が存在

いたします、即ち中間砂丘であります。

この西部砂丘群の長さは東西に四軒、南北に約五軒であり各列の幅は五百米より千米で高度は十米以下で北部砂丘と南部砂丘が一番高く十五米位を示してゐます。東西の兩端は明に相模川と花水川の蛇行により切斷されてゐます。平塚附近の砂丘には甘藷が栽培され南部砂丘は桃や野菜に適する様です。

いづれも平塚の市場に送られて東部砂丘群のそれと同様に大都市に供給されるのです。

又前記の如く砂丘地帯は共通的に休養療養地で別荘地である様です。

藤澤町 砂丘地帯の地方的中心地として近年に至つてはこの地が休養療養地帯として必然的に發展すると共にこの地への出入口として多くの交通路は開かれました。こゝに發達した道路も全く砂丘の方面に支配されてゐます。

辻堂 砂丘間の農村でこの聚落も東北より西南の中間砂丘に支配されてゐる様です、附近には桃ブドウが栽培されてゐます。

茅ヶ崎 東部砂丘群の西端に位しまして町の發達は之も西南砂丘に據つて行はれてゐます。

平塚町 繁華劇烈なる商工業地の片面に砂丘と松林を利用して別荘地帯があります。

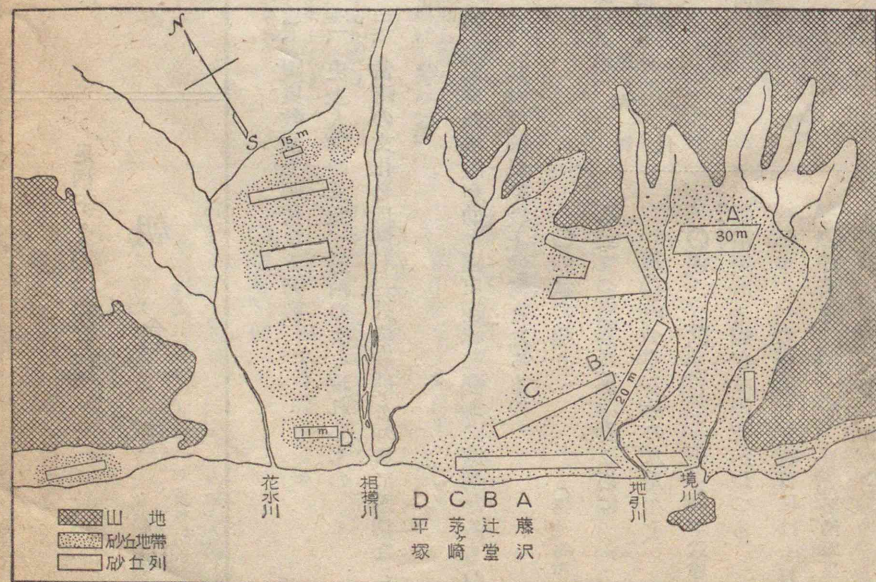
須賀 後背の砂丘に據る漁師町です。

斯く考へて來ますと砂丘と吾人は自然の内に接近して居る事に氣づきます。

一口に砂丘と申しますと砂漠を思ひ浮べますが、湘南のそれは前者と全く異り砂丘の上に生ふる松の緑にも南國の趣を忍び得るのであります。湘南が有名な休養地帯となりましたもそれは他の理由もありませうが、この砂丘に負ふ所大と思ひます砂丘は日本のどの海岸にも生ずるものではありません。湘南のは全く天恵なのであります。

最近この地帯を更に新生面に向つて開發すべき東部西部砂丘群の海岸に沿つてドライブウェイが生れる由完成のあかつきにはこの樂園に一條の光明をそへるものと信じます。

郷土の砂丘を御紹介まで。





# 國史教授の資料

## 御製和歌及狂歌集

足柄下・小田原第二校

朝 倉 重 治

國史の教科書には御製、和歌、俳句、詩等が多く挿入されてゐる。これは御製を通じて歴代天皇の御聖徳を偲び、御教慮を伺ひ奉ることが出来、和歌、詩、俳句、狂歌等により史上人物の思想、感情を理解して其の内心に觸れることが出来、亦其の時代の思想と特質を知らしめ、以て我國體を理解して國民たるの志操を養ふに至大なる力があるからであると思ふ。狂歌等は一片の笑止に終らずしてよく其の史實の理解を助け、其の時代を理解させて國家趣味の養成に資したいと思ふ。御製、和歌、俳句、詩、狂歌等の取扱ひ方よろしきを得ば、尙一層國史教育の目的を徹底し得ると信ずる。茲に國史教授上適當なるものを百五十餘首程左の考への許に集めて見たが、これらの中には不適當なるものも多々あり、尙他に適當なるものも多くあると思はれる。諸賢の御教示を得ば幸甚の至りである。

- 一、國史教授上適切なる御製
  - 二、史上人物の思想、感情のよく現れしもの
  - 三、當時の文化を理解し、社會状態を知るに適切なるもの
  - 四、史實の理解を助け國史趣味を養ふに適切なるもの
  - 五、其の他國史教授上参考となるもの
- 和歌の起り (素盞鳴尊)  
八雲立つ出雲八重垣妻ごめに  
八重垣つくるその八重垣を  
○連歌 (日本武尊)  
新治筑波を過ぎて幾夜かねつる  
かゝなへて夜にも九夜日には十日を  
○寄國祝 (明治天皇)  
神代より受けし實を守りにて

尋史上第一 大 神  
天照第一  
高史上第一  
神武天皇創業

同

同

治め來にけり日の本づくに

○伊勢邊宮

かつを木のふるせになるも二十年

○樞原に御即位 (明治天皇)

樞原のとほつみつやの宮柱

立てそめしより國は動かず

○河水久澄 (明治天皇)

昔より流れたえせぬ五十鈴川

なほよろづよもすまんとぞ思ふ

○豊受の宮に詣で、 (西行法師)

何事のおはしますから知らねども

かたじけなさに涙こぼるゝ

○機織の傳來

吳國からとり二つ來て織り始め

とりとはクレハトリの意にて織法の職工の義なり。

二つとはクレハトリ、アヤハトリの姉妹二人の職工の義なり。

○高き屋の詠 (仁徳天皇)

高き屋に上りて見れば烟立る

民のかまどに賑ひにけり

○鎌足

神代からこやねにつたふ藤かづら

こやねとは天兒屋根命をさす。

○故郷花

さざなみや滋賀の都は荒れにしを

昔ながらの山櫻かな

天智天皇滋賀に都を遷し給ひ近江朝廷開かる。

○大葉子を歌へる

韓國の城の邊に立ちて大葉子は

領巾振らすも日本へむきて

○奈良都

青丹によし奈良の都は咲く花の

香ふが如く今盛りなり

○古事記傳

伊勢ものゝ著述にはいゝ古事記傳

本居宣長は伊勢の人なればなり。

○天の原の歌 (阿倍仲麻呂)

天の原ふりさけ見れば春日なる

三笠の山に出でし月かも

○富士 (山部赤人)

尋史上第一 大 神  
天照第一  
高史上第一  
神武天皇創業

尋史上第二 天 皇  
神武天皇創業

尋史上第三 大 神  
天照第一  
高史上第一  
神武天皇創業

尋史上第四 皇 后  
神功皇后

同

同

尋史上第五 皇 后  
神功皇后

高史上第五 皇 后  
神功皇后

朝鮮半島の服屬と文物の傳來

尋史上第五 天 皇  
仁徳天皇



同

高史上第十一  
奈良時代の學藝  
風俗

○和歌及詩の名人

和歌は柿、詩は李がよく熟し  
柿は柿本人麿、李は唐の李太白を指す。

○勅使に酒を賜はる時（聖武天皇）

四つの船速や歸り來と白香つけ

朕裳の裾にいはひて待たむ

聖武天皇の朝四雙を使船として定めたる。  
故四つの船と云へば遣唐船をさす。

○光明皇后

垢摺に白綾遣ふ施行風呂

○道眞の詠

東風吹かば香おこせよ梅の花

主なしとて春な忘れそ

流れ行く我は水屑となりはてぬ

君しがらみとなりて止めよ

君とは宇多法皇を申し上ぐるなり。

海ならすたゞよふ水の底までも

清き心は月ぞ照さん

月輝如晴雲。

同

梅花似照星。

可憐金鏡轉。

庭上玉房馨。

道眞十一才の時の作にして世人を驚かせ  
し詩なり。

去年今夜待清涼。

秋思詩篇獨斷腸。

恩賜御衣猶在此。

奉持毎日拜餘香。

道眞清涼殿に於ける時の秋思の詩を思ひ  
出せしなり。

驛長莫驚時變改。

一榮一落是春秋。

道眞明石に宿りし時驚き悲しめる驛長に  
與へし詩。

離家三四月、落淚百千行。

萬事皆如夢、時々仰彼蒼。

道眞大宰府に滞りし時の詩なり。

○道具を詠める

寢坊な鷺目がさめてオヤ筑紫

○道長の歌へる

同

後三年目立つた手柄權五郎

一日の負け取り返す權五郎

○鎮西八郎の畫に（蜀山人）

八郎は弓手の長い男にて

琉球いもをたぐ取つて喰ふ

○金色堂の跡を詠む（芭蕉）

夏草やつはものどもが夢の跡

五月雨のふり残してや光堂（曾良）

○小松内大臣重盛

小松殿一人後悔先きに立ち

○頼政の歌へる

上るべき便りなき身は木の下に

しい（四位）を捨てて世を渡るかな

しいは四位にかけたる言葉にて之れより  
安徳天皇より三位を受く。

○源三位頼政

もう一首ねだると二位になる所

椎の木で榮え茶の木で終るなり

○平清盛

清盛の醫者は裸で脈を取り

同

尋史上高史上  
第十四  
藤原氏の専横

○讓位されし時（三條天皇）

心にもあらで憂き世に永らへば

戀しかるべき夜半の月かな

○紫式部

みなもとは月から浮ぶ物語り

石山で出來た書物の柔らかさ

○前九年の役

緋織も柿色になる前九年

○源義家の歌へる

衣のたてはほころびにけり

○貞任の返歌

年をへし絲の亂れの苦しさに

○貞任

防ぐ矢も盡きて一首を繼ぎ合せ

○義家の詠

吹く風をなこそこの關と思へども

みちもせに散る山櫻花

○平景政の功

尋史上第十九  
武家政治の起り

同

尋史上第十六  
源義家

高史上第十六  
武士の興起

高史上第十五  
朝臣の榮華と文化

同



高史上第十八  
平氏の驕奢

同

平清の奢りの末はうしほなり  
○宇治川の先陣争ひ  
怪我あるなどと高綱ちやらを云ひ

同

○一の谷の合戦  
飛車角のみんななり込む一の谷

同

○壇の浦  
ひどい負け平家一門なしにされ

高史上第十九  
鎌倉幕府の創設

○頼朝石橋とり逃がる  
朽木から命の親が飛んで出る  
命の親とは鳩のことなり。

朽木から源氏の運が芽を出だし

○頭大公

頼朝のかぶと拜領して困まり

頼朝の頭甚だ大なりしたため頭大公と稱へ  
たり。

○静女の歌へる

吉野山峯の白雪ふみ分けて

入りにし人の跡ぞ戀しき

静やしすしのおだまきくり返へし

昔を今になす由もがな

○本尊に祈念して (源實朝)

同

時により過ぐれば民の歎きなり  
八大龍王雨止め給へ

建保二年夏大旱に際し實朝は齋戒して法  
華經を轉讀した。直にして雨降り然かも  
洪水起りしかば尙之れを祈りたりと云ふ  
實朝の民政に盡されしを知るに足るべく  
以て其の暗主にあらざるを知る。

○鎌倉時代の武士

武士の脊中の疵は問ひにくし

新島守よ (後鳥羽法皇)

我れこそは新島守よ隠岐の海の

荒き波風心して吹け

○蒙古襲來の時

(京都賀茂正傳寺文書中)

末の世の末の末まで我が國は

萬の國にすぐれたる國

○元冠のをり

(龜山天皇)

すべらぎの神のみことをうけきつゝ

いやつぎ／＼に世を思ふかな

四方の海浪をさまりて長閑なり

我が日の本に春は來にけり

○北條時宗 (皇太后宮)

同

高史上第二十二  
鎌倉時代の文化

仇波は再び寄せずなりにけり  
鎌倉山の松のあらしに

○田樂

田樂は昔は目で見今は喰ひ

○北條氏滅亡

やすい時儲けてたかい時損し  
やすい時とは泰時、たかい時とは高時、  
即ち泰時の時代はよく治まり人望を得し  
が高時に至り一門東勝寺に自刃滅亡した  
るよりかく云へるなり。

○村上義光

(藤田東湖)

死出の山越ゆるも嬉し天照す

○於吉野 (後醍醐天皇)

露の身を草の枕におきながら  
風にたよりを頼むはかなさ

○民を思ひ給ひて (後醍醐天皇)

世治まり民安かれと祈るこそ

我が身につきぬ思ひなりけり

○楠公

(高橋泥舟)

さす竹の君がみかけと仰ぎ見る

楠の大樹の高くもあるかな

○笠置落ち (後醍醐天皇)

さして行く笠置の山を出でしより  
天が下にはかくれがもなし

○笠置落ち (藤原藤房)

同

同

同

同

同

尋史上第二十五  
楠木正行

同

尋史上第二十二  
後醍醐天皇  
高史上第二十七  
足利氏の僭上

尋史上第二十六  
菊地武時

如何にせん頼む影とて立ちよれば

猶袖ぬらす松の下露

○顯櫻樹

(兒島高德)

天莫空句踐

時非無茫茫

○櫻井の別れ

(野矢常方)

君がため散れと教へて已れまず

嵐に向ふ櫻井の里

○楠公

(藤田東湖)

湊川身を捨てこそ楠の

かぐはしき名も世に流れけり

○楠公

(藤田東湖)

持旗ちも貰ひ泣きする湊川

○小楠公 (藤田東湖)

なき數にいるぞ悲しき吉野山

花の嵐に心のこして

○正行の歌

返へらじとかねて思へばあづさ弓

なき數に入る名をぞとむる

○新田足利の争

鍋の蓋南北でたゝき合ひ

新田氏の紋は中黒にして其の形狀鍋の蓋  
に類し足利氏は二引兩にして蓋の蓋に似  
て居る所よりかく云へるなり。

○菊地武時の歌へる

故郷に今夜ばかりの命とも

知らでや人の我れを待つらん

同

尋史上第二十三  
楠木正成

同

同

尋史上第二十二  
後醍醐天皇  
高史上第二十五  
吉野の朝廷

高史上第二十三  
北條氏の滅亡





## 純眞

足柄下・湯本

市川 一夫

かわからなかつた。  
私は今明けても暮れても、唯この誓に  
そむくをおそれてゐる。

## 二、想ひ

教へ子と築きし思出のいく層を

われ凝視むればあまりにも高き

## 一、誓ひ

雲雀は天空にほがらに歌ひ、麥は大  
地にすく／＼と伸びてゆく、今日は始  
業式の日。

櫻の蕾一ぱいふくらんだ校庭には、四  
百の子供達の顔が笑ひかけてゐます。  
何か待遠しそうな表情をして級長を先  
頭に、校長先生のお話をじつと聞いて  
ゐます。

新學期の訓辭も終つて、校長先生は  
「只今受持の先生を申し上げます」と  
言葉をつがれた。子供達の愛くるしい  
瞳は、さつきよりも大きく見張つてゐ  
る、一年、二年、三年そして四年も終  
つて今度は五年、私はそつと五年の子

達の顔を見た。

「尋常五年は市川先生、第十一教室」

校長先生の言葉の終るか終らない中  
に、歡聲の爆發、拍手の高鳴り。

拍手は、歡聲は、正しく五年の子達  
からだ五年の子達は私にみんな視線を  
投げて微笑んでゐる。私の耳ははつき  
り、子供達の拍手と歡聲を聞いた。目  
は子供達の注ぐ視線に面喰つてしまつ  
た。私は嬉しかつた。唯うれしかつた  
拍手して私を迎へる子達の心は私を感  
激させずには置かなかつた。天使のや  
うな子供達があんなに信じてゐてくれ  
るのだと。

私は心の中で叫びつゝ誓つた。

「すべてを忘れて、この子供達に自分  
を捧げます」。うれしさのあまり涙ぐま  
しくなる私の心を、私はどうしていゝ

ちやんらしかつた。

ゴチヨウ？ゴチヨウ？何だらう、私  
にはマキちゃんの言つたゴチヨウは、  
ちつとも分らなかつた。私は聞いた。  
「ねえゴチヨウつて何ーに」

皆んなは「マア」と云つたような顔  
してクス／＼笑つてゐる。そして黙つ  
てしまつた。  
然し私には不圖氣が付いたことがあつ  
た。

「みんな教へて呉れないのね、では私  
が教へて上げませう、ゴチヨウつてね  
上等兵より一つ偉い兵隊さんで軍曹の  
下なの、あのね金筋が一本で星が一つ  
の兵隊さんです、分つたでせう」

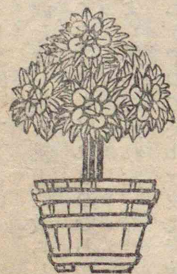
皆んなは私の言葉が終らない中に大  
きくドツと笑つた。

「先生そのゴチヨウと違ひます」

ミイちゃんが抗議を申し込んだ。そし  
て説明した。

「先生、ゴチヨウつてね……ゴチヨウ  
アイのことなのよ」

ゴチヨウーゴチヨウアイー御寵愛、成



程そうか。私は今までどの子供も特に  
可愛がりではしなかつた。みんな一様に  
可愛いと言ふ心を持つて、子供に對  
して來たのだ。私の子供に對する態度  
が正しかつたと言ふことを意識して私  
はうれしかつた。  
もう頂上へ着いた。  
廣い／＼野原には陽炎が、みどりの若  
草の間から思ふまゝにのどかに燃えて  
ゐた。

## 三、ゴチヨウ

春……盡くなき名残を惜ませてサヨ  
ナラする頃山には蕨が此處彼處に芽を  
出してゐると云ふことがいつしか子供  
達の會話に上つてゐた。

「あたい、昨日こんなに取つたわ」お  
すうちちゃんは手を輪にして抱へる眞似  
をして皆んなに誇つた。

「學校終つたら行かうね」

「えゝ」

「あたしも行くわ」

日直でなかつたら私は、彼等と一緒に  
山に早速行つたであらう。

× ×

今日は全校生徒の蕨狩、私は先頭を  
承つて山を登つて行つた。そして自分  
の受持の子供の傍について、彼等の囁  
を耳にしては一人微笑むのであつた。  
「市川先生はゴチヨウしないからいゝ  
わ」

誰か突然こんなことを言ひ出した。

「あたいゴチヨウする先生大嫌ひ」

かんばしつた聲でかう言つたのはマキ





## 我る日の生活記録

都筑・田奈校

小林 鶴 藏

一  
十二月廿七日！噫！多事なりし昭和五年も暮れるのか。過去を反省し、清算して、新しき導きの星に向つて進路を開拓せねばならぬと冷つく部屋の一隅で教育生活の日誌をめぐつた。不足満足！慚愧！實に萬感交々。感慨無量だ。此處に或る日の記録をそのまゝ一ツ二ツ摘出する事とした。

### 二

今日の第五時。農業實習の當に終らんとしたその刹那。意外！意外だ！突然吐出したK兒の言。思はざりき、K兒が斯くの如き錯覺を持つとは。斯くの如き態度をなすとは、今迄Kは身體こ

そ大きけれ、動作も頭の働きも如何にも鈍い、しまりのない、友達からも時々馬鹿にされてゐる程の人間なのだ。としか思つてゐなかつた。それなのにいや！確にKはそうした人間なのだ。それなのに！どうしたのか。それはかゝるKに對する僕の取扱が寧ろ惡かつたのだ。個性と教育、此處だ。それにして何が彼に此の錯覺を持たしめたのか、家庭？環境？其處だ。確に。土曜日といふに午後遅くまで教室の一隅で机に居並んだKと我。泌々と語り合ふうち「我が學級に此の兒が——此の兒はどうして。——」と湧然起る同情の念に胸中は攪亂された。して遂

に語るを絶つた。暫くの後、彼は勃然と覺つたかの如く立上つて僕の手を握つた。「先生！わかりました。これから……、もう歸つて下さい……」はらはらと涙を流し乍ら机上に散らしてあつた本を片付けて呉れるのであつた。「あゝ、よく解つて呉れた。ではこれからしつかりやつて呉れ」彼は荷物を片手に今後を誓つて靜に教室を出た。僕は彼が外に出て歸りゆく、その姿が見えなくなるまで見守つてゐた。そして淋しみの中に怡悦をまぢへた様な苦笑をして窓をしめたのだ。

今日は今迄になく教育といふものゝ味を知つた様な氣がする。貴重な教育生活の體驗であつた。個性、家庭、環境、訓育、教育精神等々の問題につき何物かを把握した様な氣がして居る。

(九月六日)

(そのあした)家に歸ると昨日のKより棄

書がきてゐた。見ると昨日の是非をすっかり悔い、今後への難い決心が書きつられてあるので思はず微笑んだ。  
(その後一學期間)餘程變つた。自主的になつた。偶々友人の不品行に忠告してゐるのを、それとなく聞く時誠に喜に堪へない、Kよ！眞直に強く伸びて呉れ。

### 三

最近に於ける教育思想。方法上の諸問題等は宛ら雨後の筍の如く簇生し、之れに關する書籍は汗牛充棟も當ならざる状態だ。けれど此れ等のうちには、同一種類の學說と稱せらるゝものにして實は思想の系統を異にするものあり又反對の主張をなすが如きものゝ間に却つて思潮の傳統を同じくするものがあるやうだ。故に夫々の學說の背後に潜在する學的根據を究明し分派を明瞭にし整頓、總括する事により、現代思潮をしつかり把握、批判し、自己の教育觀を確立せねばならぬ。現時の教育實際家に此の點の用意はよいであらうか？

いや、そのみでは足りない。教育も社會に於ける一つの文化事象であつ

一般時代思潮と理論に於ても、實際に於ても密接な關係を有するものである従つて一般社會思想の考察により、その反映たる教育思想を一層明白にする事が大切ではないかしら。いや尙一步進めて、凡てある國民の中に、出現した所の思想といふものは必ずその國の狀態、その社會の狀態と密關を有する。もし其の思想のみを論じて、その社會國家の狀態を知らなければ到底中核を把握し得たものとは云へぬのだ。

『彼の希臘のソクラテスが智徳合一論を唱へ釋迦が佛教に於て平等説を唱へたるが如きも或は孔子が儒教に於て「仁」を、老子が道教に於て「無爲自然」を唱へたるが如きも、何れも當時かゝる學說の起るべき社會の狀態であつたからで無ければならぬ。それを知らなければ本當の味は分らぬ」と宇野博士が言はれた事があつたつけ。

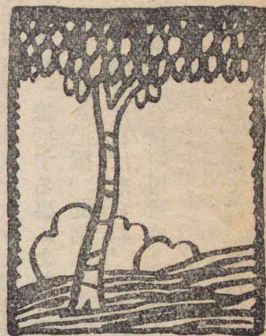
地球は廻つてゐる。時代は絶えず移り時勢は刻々に變化する。此時代思想の推移に應じ時勢の變化に伴ひ、之に

適應する教育を施し活きた人間を作る用意を缺いてはならぬ。今や農村は極度に疲弊してゆく。農村には農村に適した教育法があるはずだ。從來の天下り式都市教育法を排して農村生活の現實に即したる新教育を取つていかねばならぬのだ。それには！それには先づ教育著自身、社會潮流、社會機構の研究者として、その立場を明確にし確固たる社會的イデオロギーを把握しなければならぬと思ふ。

それにしても、より根本的のものは兒童に對する眞摯なる熱！愛！誠！これだらう。教師の熱烈なる研究も、修養も、施設經營も此の精神より迸り出でたものであり、他の何物の爲であつてもならない。之れは餘りに人々に知られすぎ、言はれすぎてゐる事だ。然し全國廿數萬の國民教育者のうち、眞に此熱！愛！誠！を捧げてゐる人は？西諺を思出した。行は實なり、言は葉なり。

(十月九日)終





## 縣下中等學校の數學科教授に 就て小學校教材の不徹底なる點

足柄下・函嶺 磯 崎 源 藏

### は し が き

本國教育の理論を研究し實際に行ふ者は、日本と言ふ獨特の國家社會を基礎としての教育でなければならぬ。殊に現時の國際的對立現勢日本の姿態を基礎とし理想を目ざして進む可きである。

日本の實狀より、更に眼を轉じて世界大勢を回顧した時に、「何處も同じ秋の夕暮」といつた同じ様な問題にあたるのである。曰く世界的不況續いて財政の窮迫、産業の合理化、軍備の縮少等、文化はどしどしと進歩する、今日人類の生活が如何に經濟と密接なる關係があるか、これを根據としての問題、つまり生活の基礎である事に何人も氣付かないものはないでせう。此の事實其の物に就ての研究は經濟學者に譲ることに致しまして、こゝでは省く事に致します。此の經濟的の難局は如何にして打開し行くか、それには國民の健全なる思考陶冶をなし、數量的生活の進展を期して、生活の改善産業振興を圖り、新文化建設をなし、世界文化に貢獻するの覺悟がなく

てはなりません。これにはそれらを内容にもつ算術教育の振興をはからねばなりません、この現狀にある國民教育者の責任重大であると信じます。吾々はよくその責務を確信してかゝる現狀に至りましたのも、一面吾々は反省して、よりよき教育の道へと辿らなければなりません。

吾々に自己の缺點と言ふものは容易に分りません。他人の鏡に映して、自己を反省して行く事の必要を痛切に感じまして、昨年十月縣下中等學校三十四校に新入生入學後の小學校算術教材の不徹底なる點につき、各校數學科擔任の先生に質問致しました處、幸ひ多數御教示下さいまして、それを分類致し共通の缺陷を調査しました結果が大體次の様であります。私はこの調査を基として、十分、研究致し正しき算術教育誕生への資と致したいと存じます。

初等教育に日夜御精勵遊ばされる、諸彦のせめて少しの御參考になりますならば、幸甚に存じます。

終に臨みまして縣下中等學校數學科擔任教諭殿並びに御助力下さいました、校長先生に對して深く感謝致します。

### (一) 算術教育一般に就いて

#### 一、算術教授の實際化を計る事。

生徒は算術を教室で行ふものノートの上に書く可きものと考へ勝である。足一歩教室外に出で直接的な人生生活に之れを取入れやうとしない。全く別個な世界に於ける事象である様に考へ勝であります。尤も彼等の日常生活は左程に數量的考察を要するものもなく、その周圍より彼等が自ら發見する問題は至極簡單なるもの多からんと存じます。されど與へられたる問題を解くに際し、これを無批判的に處理する事なく、その問題を自らの生活に結びつけ問題の渦中に自らを置いて考へしむる時は解法をも理解せしめ、且實生活と關聯せしめ得るものと考へられます。又左様な問題を撰ぶ事は教授の實際化を計る上には大いに必要な事と存じます。

#### 二、計算の拙劣と綿密なる考察を缺く事。

算術は主として數の計算とその應用とを研究する學科である。然るに此の數の計算といひ、其の應用といひ、何れも極めて易いことの様であつて而も中々容易なことでない。諸種の計算に少しの誤りもなく、又如何なる應用

問題でも之を間違なく解くやうになるまでは多くの練習

と努力との他に尙綿密な考察と細心の注意とを要するものである。學校で算術を學ぶ時は勿論、實際生活に於ける日常の計算を取扱ふときでさへ、案外間違の多いのは

全く確實な計算力のないことや、考察の不充分なことなどによるのである。

故に算術を學ぶものゝ常に、

(1) 計算を正確に而も敏速にすること。

(2) 問題を充分綿密に考察すること。

等に注意せねばならない。この事項は算術學習の二大要訣であることを知らしむべきである。

問題を充分綿密に考察しない結果「元利合計」が元金より小額となるも計算の誤りを知らず、平然たるものがある。

#### 三、基礎を確實にせよ。

これは數學一般に關する事でありませうが、徒らに難解とされる問題よりは基本的問題の理解に努めたいものである。

#### 四、用語の意義を明瞭に理解せざるもの多し。

#### 五、日常の事物を實測概算する能力に乏し。



- 六、教材の多きを貪る弊風あること。
- 七、計算問題の數記號の視寫遅く誤り多し。
- 八、問題を澤山やりこなし得ない。
- 九、本科に對して自信力がない。

一〇、精密に思考する態度を缺いて居る。

一一、思考を鍊磨する習慣に乏し。

一二、數學計算筆記を清楚たらしめよ。

數學計算筆記一般に雜然として秩序正しからず、文字數字の整頓惡しく從つて計算の誤謬多く生ずる様であります。

一三、常識的な所を誤る。

- (1) 例半徑  $r$  なる圓の面積を計算して  $2r$  を一邊とする正方形の面積より大なりとも誤りなりと感付かぬ如き誤り
- (2) 一年中の中程は何月何日頃かとの間に對し、六月十五日頃と答ふるもの多し。
- (3) 小數は零より小なりと答ふるもの多し。

一四、數字の正確を欠く事。

數字の不明瞭なる事は誤算を起さしむるのみならず、數學の目的なる正確緻密の思想を養成する上にも大なる妨をなすのであらう特に注意することを要する、數字の

書き方には斜體と立體とがあるが、各々長短あり。斜體は書くに迅速にして都合よきも計算等に於て多くの數字を縦に列べる時は各列が斜になり易き弊がある。立體は書くには餘り速でないけれども書いた跡は整然となり易い。尋常小學校の初學年に於ては立體より生徒の習熟するに從つて自然斜體となる様にするがよい、書體にはこの外活字體(楷書)及び簿記體もあるも、數學にはやはり立體に近い斜體を採るがよい。

一五、生徒をして練習せしむる時間及勞力の不足なきか。

一六、時間内に問題の多きに失せざるか。

一七、幼稚なる頭腦に適せざる困難なる問題を課せる弊なきか。

一八、教科書に拘泥して讀本の如く心得る弊なきか。

一九、劣等兒を顧り見ず優生本位に進みつゝある弊なきか

二〇、數字の書き方一般に亂雜なり。

二一、或一つの性質が徹底してゐないため定義的表現困難

## (二) 數概念に就いて

一、數の觀念が明瞭ならざる事。

二、量の單位(殊に面體等)と數との關係が明確ならざる事

三、分數の觀念に乏し。

分數は分母を以て等分せるものを分子だけ集めるといふ考へだけは持ち居るが、分數はそれ自身一つの數であつて、商を表はして居るものであると云ふ様な考の出來て居らぬもの多數なり。

## (三) 計算に就いて

一、計算能力の低下。

受験準備が兒童の身神の發育を阻害する事の甚大なる事から、近來その準備が嚴しく禁ぜられる様になつて計算の練習の機會が以前より少くなつた事が、主なる原因をなしてゐる様に思はれますが、數年前の一年生と比較して近頃の一年生は一般に計算が遅く、亦誤も多い様に思ひます。思慮を要しない機會的の計算は出來るだけ避ける様にといふ傾向もありますが、この程度の生徒に迅速正確に器械的の計算をなさせる事も必要かと考へます。

二、計算能力乏し。

即ち極めて簡單なる計算を必ず書いて計算する等の事多し。

三、計算能力の乏しき事。

- (1) 乗除の計算。
  - (2) 計算の途中暗算にて出來る所を書き却つて誤る事。
  - (3) 加減より乗除の計算を先きにすべき事を誤る。
- 希望
- (1) 分數計算を十分にせられたい。
- (2) 一〇〇以下の整數につき加減の暗算練習を十分になす必要なり。

四、算術の加減乗除及び分數の練習足らず殊に易き計算の練習足らざるか。

加減乗除分數等の計算力なきもの多々有り、實に遺憾の至りにて中學へ入學させんとする父兄教師諸君に希望する處は四則及び分數四則の計算に最も力を注ぎ、此等の計算に熟達させて中學へ送られたき事。

五、暗算力の乏しき事。

六、運算の拙劣なる事。

七、計算能力の貧弱なる事。

二桁三桁の掛け算に於ける小數點の位置等のわからぬ者も多々あります。

これは單に機械的に教授して行く爲ではないでせうか、例へば、 $12 \times 3.56$  に於てその積の小數點は何處へ打たね



ばならぬか、何故か等と簡單は事ではあるが、理解的に授けて行きたいと思ひます、吾々が現在では極めて簡單ではあると考へてゐる二等邊三角形の面積についても數學史を見ると、斜高へ底邊をかけて二で割ると云ふ様に認められてゐたのから今日の様に高さに底邊を掛けて二で割るといふ様になるには二百年以上の年代を經過してゐるのであります。中學一年へ入學の生徒は四則應用問題等について仲々理解は云ふが簡單な計算問題になつたらば案外不出來なのに驚く次第です。

八、一般に計算能力に乏し。

九、驗算する習慣殆んど無し。

一〇、計算の進化をはからない

例  $100 \times 265$  を  $365 \times 100$  として計算しないやうなものもある。

一一、簡單な計算を暗算でなすの習慣に乏し。

一二、繁雜な計算は不得手である。

平易な問題でも繁雜な運算になると間違つてしまふ、世の中の問題は困難と云ふよりむしろ平易で運算の繁雜なものが多い。

一三、記憶を憶却がる従つて計算が下手である。

一四、計算能力の不足。

少しく複雑した計算になると時間が長くかかる許りでなく誤算が極めて多い、其の原因は種々あると思ひますが、暗算指導方法の考慮と計算の趣味を養ふこと數字を正しく早く書く事等に一層留意すべき必要はなきかと思はれます。

一五、除法の意義が明瞭ならず

例「某數あり、其の $\frac{1}{2}$ が $\frac{1}{3}$ になるとき某數如何」といふ問題及び之れに類する問題に於て特に知識の缺點ある様に存ぜられます。

一六、四則計算順序の不明瞭。

四則混合式の場合乗除は加減に先立つといふ規則が案外理解せられ居らざる者多數あり。

一七、短除法の應用を多くせられたき事。

一八、小數除法餘の處理不徹底。

一九、除法は乗法の逆算なる事の意義不徹底。

二〇、小數及び分數を法とする除法は機械的で眞義を理解せず。

二一、暗算に誤多し。

簡易なる暗算特に二位の二倍の加法が誤り易く、又は暗

算に長き時間を要します、暗算の練習が不十分の爲めの様に思ひます。

二二、暗算力の乏しき事。

二三、暗算を輕視して居らないでせうか。

生徒の實際を見るに  $12 \times 4$   $13 \times 5$  ……と言ふ様な簡單な計算までも一筆算でやつて行きます。又基數の加減等の暗算も仲々うまく行かないのです。これは机上の計算のみによつて計算能力が進むと考へ實驗實測しつゝ計算に習熟せしめることが有効に行はれて居らぬではないでせうか。

二四、暗算の應用的計算の不足なる事。

二五、暗算視算をよくやらせよ。

二六、暗算の重視。

暗算は最近各學校共重視せられ、熱心に練習されて居る様ですが、其の方法に於て尙考慮すべき點がありやせぬかと思はれます。即ち暗算として行ふ場合は相當よく出來てもいざ筆算をやる場合には極めて簡單なもの迄も一々計算を行ふと云ふ様な有様で暗算は暗算のために暗算に終り筆算との間に極めて交渉が薄い様にうかゞはれます。

二七、概算能力を養へ。

精密なる結果は計算によつて知る可きも大體の數値はこれを概算によつて知り得る様に練習する事は肝要なる事と存じます。特に實生活の種々なる問題に對して小數點以下幾桁といふ如き細密なる値を求める必要なく概算の程度にて十分間に合ふ場合も少からずと存じます。

二八、概算演算後の驗算の必要。

計算する前の概算演算後の驗算の習慣が亦足りない様な氣がします。實際答とは全然違つた答を出してゐるものもあります。

二九、暗算の除法不十分。

約分の際 7, 11, 13 等にて約すること即ち心算にて割ることが不十分である。

三〇、等號の亂用

一般に等號の意味を解せず、自分の計算せる部分の答を等號の次に記す等の事多し。

三一、等號の亂用。

例  $0.8297 \div 237 = 0.0035$

三二、等號の使用に缺點あり。

例  $(3 - \frac{2}{3}) + (\frac{2}{3} + \frac{4}{9})$



$$= 3 - \frac{3}{7} = 2 \frac{4}{7}$$
$$= \frac{2}{3} + \frac{4}{9} = \frac{10}{9}$$

三三、等號を亂用する事。

三四、平方立方の不理解。

二乗三乗はよく理解するも平方立方といふ時は圖形に關する正方形立方體のこと、混同し易く往々誤りを起し或は理解を欠くことがある。

三五、切捨切上四捨五入の區別明瞭ならざる事。

計算に於ては眞の數を知り得ない場合があり、除法に於て商が循環小數となる様な場合又實際問題に於ては眞の數を知る必要のないことも多い、何れにしても此等の取扱は算術の實際化といふ方面から見ても大切なことである。

三六、數値の大なる計算は誤る。

四則應用問題に於て小なる數値ならば出来るが、數値を大きくすれば誤る者多し、之れなる數値の時の答になるらしき數をあてはめる大なる數ではそれが出来ない、考へる力の足らざるを表はすか。

#### (四) 計量單位に就て

一、度量衡に不馴の點あること。

度量衡は目測實驗實測相型製作等によつて直接に單位關係を理解せしめ、自然的に其の觀念が得られるやう努力することが肝要である、又換算は現代が過渡期である關係上多少必要であるが反對に「メートル法」を他のものに變化することは必要のない事である、但し時間、角の計算等に將來も變りないのであるから、注意して取扱はねばならぬ。

二、度量衡(メートル法)の各種單位間の關係を明瞭に理解せざるもの多し。

#### (五) 求積に就て

一、平方と立方との觀念不十分なり。

例へば單位一立方糶のものと一立方粉のものととの換算すること不十分なり是は實驗實測等をよくなましむるは宜しからんか。

二、求積問題の不徹底なる事。

求積に關する問題は一般に不出來の様に思はれます、一層空間觀念の養成に留意する必要を認めます。

例二平方米と二米平方の混同

三角形の面積を求むるに底邊に高きを乗すれば、如何なるものになるか不明のもの

三、圖形は定義すれども類似せる實際物は知らず。

#### (六) 應用問題に就て

一、應用問題に於て事實と計算との聯絡不明。

何故に加減するか何故に乗除するか考なしに問題に表はれたる數を無暗に加減乗除するものなり是れ問題の意味を十分に理解せざるためと又事實と加減乗除との聯絡不十分なるためならんか、故に兒童生徒自身をして其の問題を實驗せしむる様にせば如何。

二、應用問題の説明が不徹底なる事。

此はいつの一年生に就ても感ずることでありますが、解法を機械的に記憶して居て答さへ出れば満足してしまふのが多く、説明をさせて見るとよく解つて居ないものが相當にあります。説明を徹底する様に尙一層努め生徒自身で多く異つた解決を工夫する様になるとよいと思ひます。

三、應用問題の意味不明。

和差算等簡易なる應用問題の解法が機械的にして根本の

意味を理解なし居らず。

四、應用問題の解析力に乏しき事。

五、思考問題を計算のみに没頭する。

其の計算の理由を考ふことを先きにせず、加減乗除を行ひて答のみ求むるもの多し。

六、應用問題を機械的に解く傾向あり。

七、一般的解法を輕んじ所謂詳解式の本の記載せる解法にのみ依らんとする事。

八、公式の内面的考察が困難。

例(一)  $(\frac{1}{2}\text{圓}) \times (\frac{1}{2}\text{圓}) \times (\frac{1}{2}\text{圓}) \times (\frac{1}{2}\text{圓})$  に於て元金が一定なるとき利息は利率と期間に複比例する如き内面的考察が困難。

#### (七) 比例に就て

一、比例の觀念に乏し。

即ち比例の形式のみ理解し比例の眞意義を知らざるを以つて代數幾何等に進み少からざる不便を認む。

二、比例の意義不正確なること。

互に關聯して變る二つの量があつて其の一方が増加すれば、之に伴ひて他方の量も増加し、又一方が減少すれば



之に伴ひて他方も減少するから、此の二量は正比例するといふのは誤りである。年齢と身長體重との關係勉強時間と成績向上等の關係は比例式として成立せず。

三、比例の函數的關係の内面が不理解。

例相似形の面積は對感せる一邊の長さの二乗に比例すると言つた様な事柄の内面的理解がないため従つてこの種の問題の解答が困難である。

或は又物體の影の長さと棒の長さ及びその影を知つて高さを求むると言つたやうな實際的な問題の印象が薄い算術が形式に流れるためか。

### (八) 珠算に就て

半數は珠算の除法を知らず。

### (九) 筆者 約 結

一、數概念を確立させる。

二、算法を十分に徹底させる。

三、計算の反覆練習を十分になす。

四、暗算は計算の基礎なるを以て十分にその熟達をはかる

五、基礎教材の徹底を期せ。

六、數字を正確迅速奇麗に書く習慣を養へ。

七、數量的常識の養成に努める事。

八、驗算の習慣をつけ自己反省の態度を養ふ。

九、作爲勞作的自發的學習を重視する。

一〇、實力調査をなし缺陷誤謬を考慮し、實力程度を考慮して學習を進める。

一一、空間觀念は低學年より養成にとめる。

一二、應用問題の解決は思考力の練磨し解法の發見に意を注がしむ。

一三、比例觀念を確立させる。

### (一〇) 指導上の着眼點 (筆者)

一、兒童の能力を調査し缺陷程度を基礎として學習を進める。

二、教材を縱横に系統的に研究し兒童の心理に立脚し能力に適應せしめる様學習せしむる。

三、教材の困難點の診斷をなしこの療法時間を考慮する事

四、兒童心理と算術學習心理とを研究しこれを基礎として學習を進める事。

五、計算は部分的練習によつて十分習熟をはかる事。

二〇、兒童そのものゝ生活を尊重して教材の生活化をはかる事。

### (一) 數概念教材に就て

一、數

數とは「その群及びこれと一對一の關係に持ち來すことの出來る凡ての群の有する性質」であると定義されてゐる。

1、2、3等の語にて表し得るものを自然數(整數)と云ひ、分數とは單位の幾倍かに等しからざる數値を表はすものである整數及び分數を總稱して有理數と云ふ事がこれに對して正方形の一邊に對する對角線の如く有理數にて表す事の出來ないものがあるこれは無理數である、無理數の外に尙多くの人爲數が考へられをる、零負數無理數虛數の如きはそれである。

### 二、數概念

數に關する概念である、數概念には具體的のものと抽象的なものとの二種がある、前者と名數の概念で後者は純粹數の概念である。數の概念の成立に關しては心理的見解と論理的見解とがある。

六、問題に對する數學的考察力を養成する事。

七、實際生活上に起る數量的の問題解決し得る能力を養成する事。

八、基礎的な暗算を系統的に練習し實用上の計算にも暗算でなすの習慣を養成すべし。

九、數字記號文字の練習を系統的、繼續的にし正確奇麗迅速に書くの習慣を養成すべし。

一〇、檢算を實行させる事。

一一、基本問題は反覆練習によりその徹底を期す。

一二、教材の郷土化を圖る事。

一三、問題は直觀によつて(實物若しくは圖解)徹底をはかること。

一四、教授の中心點は十分徹底を期すこと。

一五、兒童の缺陷はこの救済に努むること。

一六、學習は遊戲化作業化を圖り兒童に興味を持たしめて進む事。

一七、世界對立現勢日本の現勢を顧慮して算術教育をなす可きである。

一八、自發的學習態度の養成にとめる事。

一九、歸納的發見的學習法を重視する事。



心理的見解とは數的經驗の事實の中から所謂概念構成の方法に訴へて關係の本質を抽出するものである。

論理的見解とは新カント派のコーエン等の如くにこれを先驗的意識の論理的活動作用に歸せしめようといふのである。ユーエンは數の範疇(部屬)は「1」である。この

一から順次に二、三、四、五を造り出すと言ふ。

### 三、數概念の發達

數概念の發達は全體三段階に分れるこれが基礎である。

第一段は二群の比例で「多い」「少い」の漠然たる概念第二段はこれを一對一の關係にもち來して「幾つ多い」「幾つ少い」といふ狀態第三段は更に進んで一定の單位に依つてはかるに至つた狀態である。

野番等が一つの手をもつて來て返すが如きは第二段の數生活狀態にあることを表すものである。

### 四、算術代數の發明

人類に歴史が生れて以來算術が世界で最初に發達した場所は矢張りエジプトでありました。エジプト人は物を數へるに小石を用ひ手の右の方から左の方に動かして計算したのであります、そして十數へる毎に一桁宛昇させたのです。この十毎に一桁昇せる數へ方を十進法と云ひま

す。此の十進法こそ今日私達の數へる方法である。エジプト人はこの十進法によつて寄せ算引き算掛け算割り算をやりました。又分數計算しました。この分數はエジプト人にとつては、大切な學問でしたこの外代數學も發明されて簡單な方程式を解いたのであります。エジプトからギリシヤに移入されました、更にその後エジプトから直接ローマにも輸入されました、ローマから更に歐洲諸國にも傳はり六百年前に傳ひられてゐたのである。併し惜しい事には數を表はすに簡單な數字が發明されなかつたためエジプトの算術や代數は幾何學程發達しませんでした。

### 五、數字

數を表す記號のことアラビヤ數字とローマ數字の二種がある、羅馬數字はI(一) V(五) X(十) L(五十) C(百) D(五百) M(千)の七個の數字からなる算用數字(Indic)の元の數字並に〇は今より一千四五百年前完全に印度で發明されたのですからアラビヤ、數字ではなくして印度數字と云はねばならぬものであります。

### 六、數概念養成の要譯(初學年學習の基礎)

個人差

1 フイツシャーは入學期の兒童の數へる能力に就ての研究をなし四十五名の一年生の數へる能力を研究した獨逸の實驗はこれらの子供は一つ宛二つ宛五つ宛六つ宛七つ宛八つ宛數へ得るかを尋ねて見た、それによると個人差は非常なものである。子供は千迄數へる事が出來たのにある、子供は三つ以上數へることが出來なかつた、而して數へた數は百であつた、尙ほ千まで數へることを知つた子供は二つ宛三つ宛でも數へることが出來たといふ事である。

ホールはボストンの一年生二百名の中八%は三の觀念を知らず17%は四を知らず28%は五を知らなかつたといふ事である數へる事の本質と定義に就ても相當に議論もある、その幼兒の觀察によると彼等の多くは數の順序を間違なく言ふ事が出來るが、その數系列の意味に就ては少しも考へないといふ事實が明かにされた。

しかし合理的の數へ方は先きに述べし如く、外部の事物にこの數系列を適用して一の事物に對して數の一單位を當てるといふやうになることである。かうした個人差を持ち然かも貧弱なる概念基礎の兒童に正しき觀念作り上げるのはなかなか至難である。

然かしてその構成は先人の發達した過程を辿らしめよ、そしてその兒童に創造構成せしむ可きであるといふのが最近の思潮である、以下これを根底とせる着眼點につきて記さん。

### 七、數概念養成の着眼點

數概念の構成は矢張り兒童の心理を攻究した後でなければいけない、そして個人差とその發生系統を深究しこゝに確立すべきである、その教育原理についてはマーガレット、ドラモンドは數概念の發達的研究をなし次の五を示してゐる。

1 初期の算術は凡て個人的に兒童に自發的にさせるがよい

2 如何なる兒童も正確に物を數へるまでは形式的の算術課業を始めてはならぬ。

3 數の分析はなるべく兒童自身に分析させるがよい。

4 數の名を呼び唱へる練習に多い事を要する(遊戲によつて)

5 數の知識及び運算を行ふ能力は五歳乃至七歳の間に生ずる心的發達の結果である、而してこれは指導の結果でなく自然に起る事が多い。

米國のブロンナー氏は



- 1 數の概念は物體を取扱ふ實際經驗から生ずるものである
- 2 能動的經驗を主として一方には數の機能に關する理解が生れ他方には數的關係の理解が生ずるのである。
- 3 完全なる數概念を生ずる過程としては必ず分析比較辨別及び抽象作用を必要とする、即ち具體から抽象への轉移がなくはならぬ。
- 4 數の取扱ひには記憶が含まれてゐる機械的技巧にも記憶が極めて大切である。
- 5 記憶の過程には任意の觀念聯合が大切な役目をする。

着眼點

- 1 直觀的作業的取扱を多くする。
- 2 家庭の言葉で學習させる。
- 3 進度を急がぬこと。
- 4 飽きさせぬ事。
- a 教師の修養
- b 教授時間の運轉
- c 作業の組合せ
- d 直觀物の變化
- e 遊戯化

八、數概念養成方法

一〇、百以上の數概念(千以下)

百以上になると數へるよりも十進法による、命數法の組織を知らせつゝ兒童教師共同して再構成再創造するが如き態度を以て進むのが本體になる、斯くてその數概念に構成されたかを練習し、同時に確認して行くことが大變必要な事である。

- 1 數の具體化
- 2 數へ方練習
- 3 簡易な暗算

(二) 計算觀念

計算觀念の發生は量の分解結合にあるですから吾々の最初に指導せねばならない事は計算の意味を明瞭にすることとでなければならぬ。

即ち、加減乗除の算式は如何なる意味を有するものであるかを十分徹底せないと随分困る其の代表物たる計量器の分解結合によつて作業的に理解することであると思ひます、いくら「 $3+4=7$ 」の計算が出来るやうになつても、これが如何なる意味をもつかわからないと計算を實際問題に利用出来ないのです。そこで突然算法教授の際に算法

〔實物扱〕數へ主義  
〔數觀念成立の檢證〕

- 1 當てること 實物〔確實に  
速く〕
- 2 直觀的表示
- 3 數へ方練習 數詞——實物
- 4 數系列と大小の比較
- 5 具體的扱より抽象的扱への轉移
- 九、十以上の數概念(百以下)

數概念養成は主として十以下の數範圍である。二十以下も略同様に扱はれる、十以下の數概念その認識は成立すると十以上は差程困難とも思はれない定は餘程思惟に依つて構成が助けられるのであらう。

けれども實物の數へ方は可成やつて強いて思考のみの構成は無理である、當てることと表示する系列大小の順位を明かにする事何れも十以下に順じてすべきである。

〇以上になると多少趣きが變つて來る大體思惟の力で構成することが主になる従つて 1012030, 40, 30, 100 と先づ十づゝの順系を知らせる事が第一歩である、そして計算練習の前後に僅かづゝ加へて氣を長く練習すれば自然に附加される。

を提出するよりも、先づ是に關係ある事實問題を提出し目的とする種類の計算の必要その計算が實際に活用される場合を知らせてからその算法を學習する價値を自覺させる、その價値感を起させて算法の發見工夫に移る可きである、そして計算意義を自覺させるのである。

一、加法の計算觀念

こゝに二つの物の群がある、此の二つの群を結合してこれを一つの群とし或は之を一つの群と見たとき、そこに幾つの物があるかを解決せねばならない、實際問題に我々は度々遭遇するのでこんな實際問題の例は前にもあげましたからこれが如何なる實際問題であるかを想像して下さると思ひます。

そしてこれからの實際問題を解決するには先づ一つの群の數を數へ、之を數へ終つた後引き続き他の群を數へて之を一群と見たときの全體の數を知るのであります。

今前の二つの群の數を夫々、A、B とし之を一群と見たときの數をS としますと、S を求める作業をAにBを足すといひ、その結果がS になることを符號であらはすに

$$A+B=S$$



従つて加法の算式は次の圖の如き二つの量とこれらの量との結合する作業とを含んで居ることを知らねばなりません。

$$\begin{array}{ccccccc} \bigcirc & \bigcirc & \bigcirc & \bigcirc & & \bigcirc & \bigcirc & \bigcirc & \bigcirc \\ 4 & + & 3 & = & 7 & \bigcirc & \bigcirc & \bigcirc \end{array}$$

の矩形は中にある二つの群を一つの群に合はせ又は之を合はせたものと考へることを示したものであります。4、3、7の符號は一つの物の群即ち量を代表するものなり。

### 二、減法の計算觀念

#### A 殘餘法

林檎十五ヶ貰つたがあまり見事なので六ヶだけ隣の家へあげる事にしました、家には幾つの林檎が残るだらうか

$$15 - 6 = 9$$

$$A - B = C$$

#### 1 符號式を美はすことの教授

#### 2 作業による解決

#### B 補加法

お正月でお餅を十五ヶ焼かねばならないのですが大體のところには八個しかありません、もう幾つとつてくると

よゝか

$$A - B = C \quad B + C = A$$

以上二つの他に次の如き問題があります

差の比較

太郎さんは鉛筆を八本もつて居ます、次郎さんは六本もつて居ます、どちらが何本多く持つて居りますか

### 三、乗法の計算觀念

#### 1 作業化……數へること

第一學年から指導し作業による解決の方法を

知らしておくこと

$$2 \times 5 = 10 \quad \dots \text{心で}$$

#### 2 加減が始期

$$2 + 2 + 2 + 2 + 2$$

#### 〇〇加法 2.5倍 乗號×の整數教授尋一ノ三學期

$$2 \times 5 \text{ の教授}$$

### 四、除法の計算觀念

#### A 等分法

#### 1 直觀によつて

2 加法の方法によつて人人の分配額を豫定して、その四度累加することによつてする。

### 3 乗法の助けによつて正しき數を出す

#### 4 A+B Bだけに等分する

#### B 減法(包含法)

#### 1 一人分とつておくこと

#### 2 加減法の助

#### 4 乘法

$$5A + B = C$$

### 五、計算

#### 1 十以下の數の加減

$$4 + 3 = 7 \quad 9 - 4 = 5$$

#### 2 二十以下の加減

$$1. \quad 10 - 7 = 10 + 3 - 3 - 4 = 10 - 4 = 6 \quad (\text{減々法})$$

$$2. \quad 13 - 7 = 10 + 3 - 7 = 10 - 7 + 3 \quad 4 + 3 = 7 \quad (\text{減加法})$$

#### 3 百以下の數の加減

十を一團として扱ふ

#### 4 二基數の和及び逆の練習

數の系統を理解し之の數象が確實になつてゐる、兒童に對しては第二學年の加減の計算はあまり困難ではなこのです。併し計算は系統的のものであつて前の計算の出來ぬ場合には次の計算は決して出來ぬもので一學期には十

分に練習して短時間に計算出來るやうにしなければなりません、その加減の基礎はいふ迄もなく二基數の和とその逆の差であります。

#### 5 基數を足すことゝ其の逆

事實問題解決にも二位數に基數を加へ亦二基數を引くその計算は凡ての根本であります、この習熟は十分期さねばなりません。

#### 6 二位數十基數

$$7 \text{ 十位に影響せない場合例 } 24 + 2 = 26$$

$$2 \text{ 十位に繰上つて一位が零となる場合 } 38 + 2 = 26 + 4 = 42$$

$$3 \text{ 十位に繰上る場合 } 47 + 6 = 53$$

#### 7 二位數引く基數

$$1 \text{ 十位に影響せないもの } 58 - 6 = 52$$

$$2 \text{ 何十から基數を引くもの } 40 - 2 = 38$$

$$3 \text{ 十位に影響するもの } 64 - 8 = 56$$

#### 8 二位數を足すことゝ其の逆 確實に

$$24 + 33 = 57 \quad \text{作業} \quad \text{理解} \quad \text{計算練習}$$

$$1 \text{ 十位に影響せないもの } 23 + 65 = 88$$

$$2 \text{ 十位に繰上つて一位が零となるもの } 24 + 36 = 51 + 19 = 70$$

$$3 \text{ 十位に繰上るもの } 38 + 47 = 85$$



二、位數引く二位數

- 1 各桁引きうるもの例 68-24
- 2 何十引く二位數 50-24 70-38
- 3 十位に影響するもの 52-37

六、暗算形式と筆算形式

第一學年第二學年に於ては計算は暗算によるものでありますからその形式は暗算形式による方がよい事は勿論であります。

茲に暗算形式といふものは上位の數から次第に下位の方に計算して行くもので次の加法減法は

$$27+38=57+8=65$$
$$51-27=31-7=24$$

筆算形式は下位の方から上位の方に計算して行くもので例へば上の加減法は之を次の如く數を排列し又は排列したものと考えて

$$\begin{array}{r} 27 \\ + 38 \\ \hline 56 \end{array} \quad \begin{array}{r} 51 \\ - 27 \\ \hline 27 \end{array}$$

- 尋一 暗算形式  
尋二 筆算形式

七、加法

- 1 數ヶの基數の和
- 2 281+154+213
- 3 598+184+146

八、減法

二、基數の和を求める逆の減法

補加法

- 例 1 例 2 例 3

$$\begin{array}{r} 6005 \\ - 5042 \\ \hline 963 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7203 \\ - 5106 \\ \hline 2047 \end{array} \quad \begin{array}{r} 4000 \\ - 8703 \\ \hline 202 \end{array}$$
$$\begin{array}{r} 10 \\ 218 \\ 1010 \end{array}$$

九、乗法  $0 \times 1 = 0$   $0 \times 2 = 0$  ...  $0 \times 9 = 0$   
 $1 \times 0 = 0$   $2 \times 0 = 0$  ...  $9 \times 0 = 0$

九々(總九々)

九々の指導は加法が基で累加の延長でありますこれを基にして作業化して行へばよい基數の掛け算

例 1  $\begin{array}{r} 314 \\ \times 2 \\ \hline 314 \end{array}$

例 2  $\begin{array}{r} 128 \\ \times 3 \\ \hline 128 \\ 128 \\ + 128 \end{array}$

2 二位數を掛けるもの

a 何十といふ數を掛けるもの

例 1  $\begin{array}{r} 431 \\ \times 20 \\ \hline 284 \end{array}$

2  $284 \times 600$

b 一般の二位數を掛けるもの 例 3  $328 \times 23$

$$\begin{array}{r} 328 \\ \times 3 \\ \hline 984 \end{array} \quad \begin{array}{r} 328 \\ \times 20 \\ \hline 6560 \end{array} \quad \begin{array}{r} 984 \\ 6560 \\ \hline 7544 \end{array}$$

例  $\begin{array}{r} 328 \\ \times 23 \\ \hline 984 \\ 656 \\ \hline 5544 \end{array}$

……3倍したもの  
……20倍した數の1位0を略したもの  
……3倍した數と20倍した數を合せたもの

例  $\begin{array}{r} 566 \\ \times 274 \\ \hline 2252 \\ 4081 \\ 1126 \\ \hline 155662 \end{array}$

……563の4倍  
……563の70倍  
……563の200倍  
……これらの和

一〇、除法

1 基數で割ること

a 各桁の割り切れる場合

$$396 \div 3 = \dots 132$$

二、割り切れなす桁がある場合

例 (2)  $1758 \div 2 = \dots 899$

2 二位數以上の數で割ること

例 1  $224 \div 23$

223……30の何倍

例 2  $130 \div 21 = \dots 5$

横濱信號所

一、所在地

- 一、本社 横濱市中區山手町一八六一
- 一、支部 神戸市遠矢町二ノ四六一

二、事業

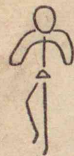
- 一、海陸信號通信連絡ニ關スル事業
- 一、船舶動靜通信ニ關スル事業
- 三、其他ニ關スル事業

三、信號ノ實地ト宣傳

一切無報酬 如何ナル場合ト雖モ信號取扱ハ一切無報酬トス

陸上ヨリ各船舶ニ對シ電話ニテ信號ヲ依頼サレタル場合ハ一應之ヲ承諾シ更ニ本社ヨリ電話ヲ以テ信文ヲ照校反覆ノ上其相違ナキヲ確メタル後ニ非ラザレバ之ガ取扱ヲナサズ





9 四呼間

前二呼間—左足で「ホップ」し乍ら（右足は屈膝擧股）兩掌を側方より擧げて頭上に圓く翳して之を見る（この時、食指のみを伸し他の指は屈して置く）  
後二呼間—右足で「ホップ」し乍ら（左屈膝擧股）兩拳を側下方より顔



16 四呼間

左足を前方に踏み出し（右膝を屈して之に體を懸ける）乍ら左臂（拳を握つて）を前方肩の高さに伸し、右肘を曲げて張つ

7 四呼間

り斜後下方へ振り下す。  
三步前進して止る

8 四呼間

兩臂を左斜上方へ擧げ、次に體前より右斜後下方へ振り下す。

10 四呼間

前に廻して支ふ。

11 四呼間

同 前

12 四呼間

同 前

13 四呼間

體を前下屈して、（膝も屈げる）兩手を前下方へ伸し、膝の前で拍手し乍ら四歩退る。

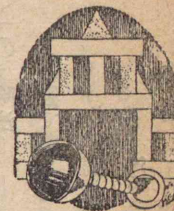
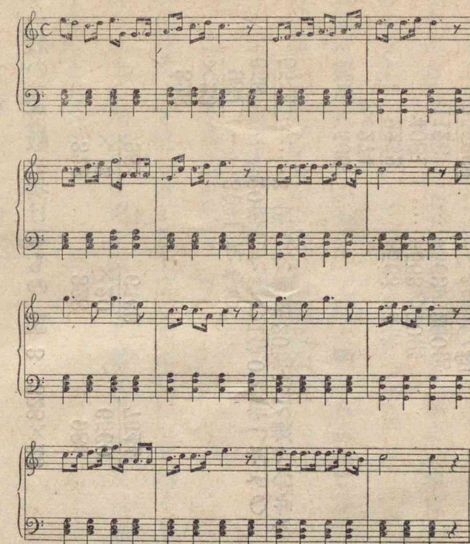
14 四呼間

13と同じ

15 四呼間

右足より輕快に三步前進して圓心の方に向く。

## Joy March



童 心 遊 戲

ジ ヨ イ ・ マ ー チ

横濱第一高女教諭

小 菅 一 男 作

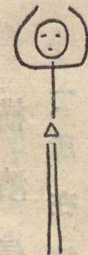
適用……尋常科第一學年  
用意……一列の圓陣又は二重圓陣を作り圓心に向つて立つ

## 第 一 節



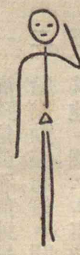
6 四呼間

兩臂を右斜上方へ擧げ—之を體前より



5 四呼間

右を向き乍ら（圓陣に添ふて）三步前進して止る。



2 四呼間

學手の敬禮をなし次に手を下す。

3 四呼間

三步後へ退る。

4 四呼間

兩臂を側方より上擧して頭上に圓く翳す（食指を伸し他の指は屈して置く）次に手を下す





## 第二節

(拳を右頬の側に支へる)て立射の姿勢を執る。

次に直立に復へる

- 1 四呼間 綱を手繰る如く兩拳を體前で交互に上下に動し乍ら圓心に向つて進む。

2 四呼間 1と同じ

3 四呼間 同 前

4 四呼間 同 前

- 5 四呼間 前二呼間—左足を前方に踏み出し、

(右膝を曲げて之に體を懸ける)體を前下屈して兩臂(拳)を前下方に伸す。

後二呼間—體を反

らし乍ら兩臂(肘を曲げて)を胸に曲げる。「ポート」を漕ぐ如く。

6 四呼間 5と同じ

7 四呼間 同 前

8 四呼間 同 前

9 四呼間 前節の9と同じ

10 四呼間 同 前

11 四呼間 同 前

12 四呼間 同 前

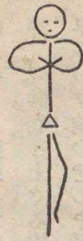
13 四呼間 前節の13と同じ

14 四呼間 同 前

15 四呼間 前節の15と同じ

- 16 四呼間 兩掌を軽く握つて圓筒を作り望遠鏡をのぞく如く眼前に翳す—次に手を下す。

## 第三節



1 四呼間

前二呼間—兩手を腰に執り乍ら兩膝を軽く屈伸する。

後二呼間—手腰で三度歩踏する。

2 四呼間

1と同じ

3 四呼間

連手右方へ行進—第四動で「ホップ」する。

4 四呼間

3と同じ

5 四呼間

兩臂を體前に組み首を垂れて交互に「ホップ」し乍ら少しづつ退る。

6 四呼間

5と同じ

7 四呼間

5と同じ

8 四呼間

5と同じ

9 四呼間

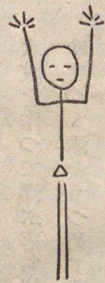
第一節9と同じ

10 四呼間

同 前

11 四呼間

同 前



- 12 四呼間 同 前
- 13 四呼間 第一節の13と同じ
- 14 四呼間 同 前
- 15 四呼間 第一節15のと同じ
- 16 四呼間 兩手を體前より上舉して萬歳の氣持ちを表し、次に手を下す。

備考 以上水兵の軍艦生活の一面を「スケッチ」したものである。最も輕快に愛らしく演じて欲しい。





## 俳句

都筑、山内第一校

## 石原日の出

## 春雑詠

水温む沼田に田螺目さめけり  
 ほんのりと微見えて來つ春の餅  
 麥二寸砂卷き上ぐる旋風かな  
 早春の夕餉のぜんや野蒜ぬた  
 春曉や味噌する音を夢うつゝ  
 飼ひ放つ鶏の遠出や春うらゝ  
 伸びやかに眠れる吾子や遠蛙  
 草餅の色よく出來し彼岸かな  
 湯より出て裸のまゝや春の月

## 若葉の頃

横須賀市澤山學校

## 三木葉影

若葉の家の建つ音響きたり  
 若葉越し煙草の看板の赤きかな  
 圓ろやかな葱の花に霧雨が  
 苗代に小波消えて行く夕日かな  
 霧雨にぺん／＼草の咲きほこり  
 紫雲英田幼な子供の遊びをり  
 田の面に若葉の映りて風光る  
 春雨にかこち顔なる家鴨かな  
 畦道にきつねのぼたん咲きこぼれ  
 紫雲英の田を耕してゐる人もあり  
 海藻の章魚動きたり春の海  
 霧雨に竿ばかりの節句かな  
 水紋を作つて浮ぶ落ち椿  
 ゆきつゝ溝をうづめて落ち椿  
 麥青く葉先の折れて風もなや  
 去年の蘆一本一本の姿かな



# 小学校理科藥品及 整理活用について

三浦・大津 秋元 秀雄

我々は環境に關する色々な理解は一通り見る事が出來ました。今は其れを如何にしてなすか、即ち何を如何にするか、と言ふ問題が最も接實な問題であるのです。化學教材に於て何がかうした問題になるのであらうか、私は藥品の小学校に於けるあらゆる意味の取扱がそれであらうと存じました。是は理論的に導かれたものではなくして、其の様な教材に當面する毎に、藥品に對する正しい理解の必要を痛感したのであります。私達が授業に當つて感ずることは藥品の取出しです。ところが現在使用されてゐる藥品は多いものになると八種類も名を有するものさへあ

ります。別名を知らぬ爲に同一藥品を買入れたり、眼前に有りながら柵中を掻きまわしたり無用時間を浪費し、そのあげくは同一藥品の購入となるのです。この様な事でなくとも藥品の出入は厄介なものであります。其の他重要な性質と用途とを直ちに知ることは出來ないか、極く手軽に鑑識することは出來ないか、そしてかうした仕事は大きな危害などをなくするものです。かく藥品に對する正しい理解は危害の方面、經濟的方面のみでなく、教授を完全に遂行させる上にどれだけ必要な事であらうか。科學的訓練の方面から考察しても如何程の重要性を有するかは

明らかなことであり、實際教授に携はる者の感ぜざるを得ない問題なのであります。然るに其の研究の如何を考へる時、感じつゝも敬遠するもの、又本科の方法論的末葉にとらはれて眞に教材を生かし又根本ともなるべき藥品についての注意をおこたり勝であるのを感じます。化學教材は取扱ふ藥品についての正當なる理解があつたならば、大半は成功であると云つても大きな誤はないと信する者です。(紙數に制限されてゐることゝ具體的に説明できぬことを残念に存じます)

私達の藥品に對し是だけは知りたいと云ふものを列挙してみると。

- 一、藥品の一般的知識を得ること。
- 二、極めて手軽に出來る鑑識法。
- 三、重要な性状と用途。
- 四、危険藥品の取扱。
- 五、實際取扱上の手續、注意、諸實



驗に於ける藥品の使用量。  
六、小學校にはどれだけの藥品を常備すべきものか。

七、價格。

八、藥品の整理活用は如何にすべきか。

九、其の藥品に於ける兒童經驗の程度。

一〇、教材に於ける價值（教材觀の根本）。

一一、小學校理科書全體を通しての内容位置。

一二、化學工業の概要。

以上が現在私達の藥品に對して研究せねばならぬ事項であると思ひます。藥品の取扱のみは常識的ではだめです。とんだ禍の根本です。この様な調査と研究によつて、よりよく豫算を立て購入もなし、學習も進めて行くことが出来るのであります。前述の好き要件を具備した藥品の整理活用に関し私の實

行し又實行せんとするものゝ大要を述べて、大方の御指導を得又よりよい方案の一助とされたいのであります。

小學校藥品の取扱及整理に關する索引的便覽の製作（小學校に於ける必須藥品を基調とし實際教授と關係せしめ且つ其の藥品が小學校理科に於て如何なる系統を如何なる役割の上に於てなせるやを重視し）

一、便覽製作の過程及内容。

1 藥品の分類整理、分類は化學的分類を小學校としての按排をなし、排列は階段式となし、科學的分類を基礎として、イロハ順は愚策である。自校に所存せる藥品に就いてはななく豫め小學校に於て具備せる物について工夫せねばならぬ。

2 藥箋の貼り代へ。藥品店より購入せしその儘の藥箋を用ふるは愚策、藥箋の内容について種々の工夫を要

する。一般的には、腐蝕性藥品に對

する注意、取扱上藥品の本性よりの藥箋の色別を擧げる事が出来る。私の工夫した物は大中小、三種のレツ

テルを使用した。其の記載事項を擧げて見ると。

A 藥品名及異名記入使用目的（工醫、化學用）記入、危險藥品の區別、分類別。

B 購入年月日、濃度、比重、價格

C 藥品番號、所在（見附板にも同番號記入）。

3 藥品戸棚に於ける藥品の排列狀態見取圖。

4 藥品に對する調査研究。

○過去の實驗取扱上に於ける反省、教師は常にノートする事が大切である

○教科書の研究（系統的連鎖。教材としての價值について）

○名稱別名、取扱注意、貯藏法諸實驗

三、便覽の使用方法

今或る藥品を取出さうとする、自身は教授に當つても藥品室にあつてもよい。各教室には藥品戸棚の見取圖が掛けてあり索引がある故、先づローマ字の頭文字は順に作られた索引のその項を見る。（索引の一部を擧げて見れば）

に於ける理想的使用量化學上の諸條件、兒童經驗知識の程度。

以上の順備によつて便覽が出来上がる

二、便覽としての内容

1 藥品分類、一覽表番號。 2 各學年理科時間配當表。 3 藥品戸棚見取圖。 4 索引。 5 藥品

保存法と手入法、劇毒藥一覽表及取扱法、酸類取扱法、藥品極量表、酸及鹽基強弱表。 6 藥液調製法 7 檢出法 8 元素記號、原子量、週期率一覽表 9 工業としての各種の表 10 藥品精説。

品名	別名	分子式	種別	價格	棚別	番號	備考	索引頁
フエロシアン化カリウム	黃血鹽	K <sub>4</sub> Fe(CN) <sub>6</sub>	試藥	一対1.40	引1	8	(調)橙色の巨大なる結晶日光をさへざりて保存	83
フエリチン化カリウム	赤血鹽	K <sub>3</sub> Fe(CH <sub>6</sub> )	試藥	一対2.50	引1	9	暗紅色の結晶劇藥なれば注意	50
フエノルノタレーン	白粉	C <sub>12</sub> H <sub>14</sub> O <sub>4</sub>	試藥	一號	試	11	白色類黄色の結晶粉	69
濃煙	濃煙	CaCl <sub>2</sub>	試藥	一號	試	46	白色粉末鹽素の臭・日光や熱の爲分解密栓冷所暗所	68
白粉	白粉	HNO <sub>3</sub>	試藥	一號	試	53	硝酸の項を見よ	52
白粉	白粉	P	試藥	一號	試	86	(毒)黄色結晶光學低温能高温柔軟貯藏注意	82
白粉	白粉	BO <sub>7</sub> Na <sub>2</sub> H <sub>2</sub> O	試藥	一號	試	30	無色結晶難り過ぎぬ所に本箱に入れ乾燥せしめる	72

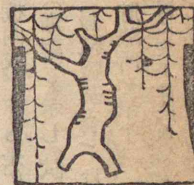
此の藥品名は別名何れでも引く事が出来る。次に棚別を見る。（下四）とあるは上棚四段。下も是に準じ引一は(1)の引出毒藥を示し(試)は試藥の所在は(危B)強酸鹽基(危A)は發火性引火性藥品の貯藏所を示す。

「本校に於ては底面(35cm×30cm)×23cm×40cm)深44cm程の二つの内箱(木)を作り

各各箱と拾糧の間を保つ外箱を作り隙間をコンクリートで固め(内箱上下二段に分け(危A)(危B)とする理想としては内箱三個がよいふたは上方に鐵板を以てする此の方法は設備の不完全な學校が少なくない豫算によつて作るには良いものではないかと思ふ」次に棚別と同時に藥品番號を見藥品棚見取圖を見れば其處に所要の藥品を見出せる備考欄では一見知られる性質と貯藏法とがある。詳には索引頁によつ

て精説を見ればよい」以上下手な文で説明がよくわからぬと存じますが、要するに藥品整理活用は一に藥品に對する正當なる理解にあります。私達は常に取扱の失敗先輩及書物からの訓、總べて参考となるものは是を取り己のものなし、理解を進めて行かねばならぬと思ひます。文化生活の上からも藥品に對する知識は益々其の必要を感じられます。





## 夏季休暇に於ける生活指導

### 指導精神と施設の實際

足柄上・前羽 石井與惣太

三旬に亘る夏季休暇に於ける児童の生活指導を如何に計劃すべきか、而して實施後の反省によつてそれを如何に改變すべきかといふことは、休暇前後に於て吾人に興へられる看過出来ない問題である。寒いから冬眠するといふ現象が特定の動物にあるからと言つて夏季休暇が夏眠に終始してはならない。この短篇は本年度本校に於て施行せる夏季休暇生活指導の實録である。勿論未だ改變すべき餘地の多々あることは實施後の反省の教ふる所であるが茲に敢てその大要を記して御批評を乞ふ次第である。

### 一、生活の概念

教育の意義が『教へる』といふ朦朧たる概念から幾多の脱皮を経て、教育即生活指導—といふに迄進んで來たことは偉大な發達と言はねばならない。而しその生活とは如何なることか？とこふことになる、その説く所が人によつて異り、生物學的に、心理學的に將又哲學的—理想主義的、現實主義的に各其の立脚地を異にする。茲に於て本篇の記述に於て吾人の生活意義觀を豫め述べねばならぬ要が存する。

生活は生活體に特有な現象で、生活體と環境との交渉關係—刺激に對する反應行動である。吾人の反應活動は故意にする行動でなく、自然であり當然

であり生命の不許不性に基調する。而して吾人の對環境關係は環境順應、環境應化の二様式を取る。前者は一般生物の反應形式であり後者は人間に獨自の形式である。所與の環境を當爲の環境に改變創造する行動が即ちそれである。反應活動の様相は環境に對し、主觀的には困惑の地位から、客觀的には生命の價值渴仰から生ずる問題解決行動そのものである。問題とは吾人の反應活動の歷程に於て生ずる困惑苦悶の地位—地位の困亂、生命の價值渴仰性から生じ、意識的に吾人の反應活動を導く未解決のXであり、先見せられた結果である。吾人はかかる問題を解くことによつて不斷に進化することが出来る。かく吾人が環境を離れその刺激に對する反應活動なしに存在することが出来ない以上、吾人は問題なしに又それを解くことなしに存在すること

は出来ない譯である。生活とはかかる吾人の對環境關係に於て吾人自ら獲得せる問題を自らの力に依據して解決する行動そのもので、問題を離れて吾人の生活は無なりと言ふべきである。

### 二、夏季休暇生活指導の必要

教育が児童の生活指導であり、生活が不斷なる問題研究であり、而して夏季休暇が児童の夏眠に非ざる限り夏季休暇の生活指導は重要性を持つ。それを單に夏季學習帳一冊位を附與し、その學習を強要するが如きは吾人の採らざる所である。吾人は夏季休暇を以て、日頃馴致せる児童の生活能力（學習能力）を試練する好個のチャンスと觀る。換言すれば學校教育の効果を検討し、児童を全く自由な環境に解放して生活を生活する力を鍊磨すべき機會とする。

夏季休暇を生活指導の機會とする吾人は、最も有意具案的な方法によつてその指導に臨まねばならない。指導は教育の最大要件で、指導なき教育は片輪を缺く車の如きものである。生活指導の要諦は、児童をして生活せしむるより外にない。即ち生活の概念が具體的児童に還元せられて、自らの環境に自らの問題を持ち、自らの力によつて解決せられるのであれば、生活する力の練成は期し得ない。児童が學校といふ特定の環境から更に廣汎な社會的環境に身を置く時、そこには多種多様の刺激が一つの交響樂を奏して児童の感受性を喚起し幾多の問題を構成せしめ、内面的生命はその必然的慾求によつて、その解決を迫るであらう。而してそれは全く自由な境地に於ける児童の獨自的な生活の姿である。かかる生活は夏季休暇の與ふる獨一無双の恩恵と

いふべきである。世に夏季休暇短縮論、全廢論あり、現状維持論、延長論あるも吾人は如上の意味に於て前者に左擔することの出来ないものである。

要するに夏季休暇は児童をして學校生活に於て訓練せられたる生活の仕方を家庭的社會的環境に於て實演せしむる機會であり、それによつて教育的効果の如何を察知し、児童の生活能力を伸長することが出来るのである。而してかかる生活行動の裏面には、光と熱とを滿せる教師の間接的、直接的指導の存すべきことを忘れてはならない。

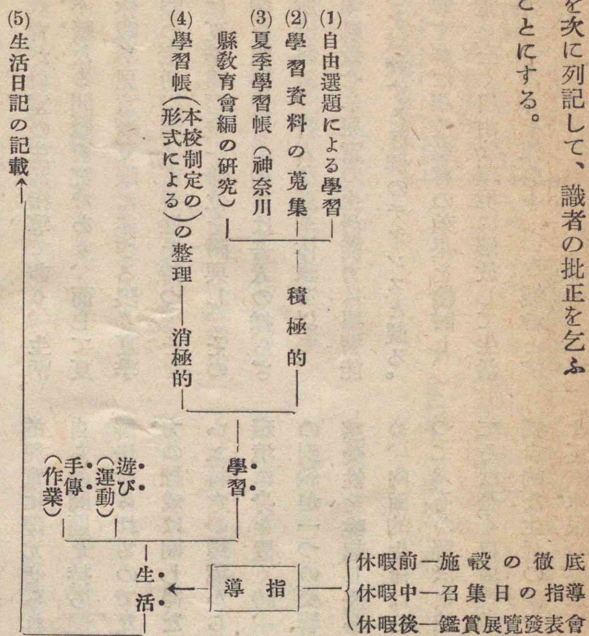
### 三、實際的施設

#### (一) 施設の概要

凡て理論と實際とを一致させることは、種々の意味に於いて困難を伴ふことであるが、今上述の所説に基き吾が校にて實施してきた施設の概要



を次に列記して、識者の批正を乞ふことにする。



(二) 方法

A 児童生活方面

(1) 自由選題による学習（施設中之に最も重點を置く）

a 選題——児童の實生活環境から既習題材から更に発展的に受持指導の暗示から（註）題材は継続的に而も系統的に

研究し得る題材を選ばしむ問題を決める問題の排列……系統化を圖る様に学習資料を集める……問題研究に必要な……問題研究に必要なる……児童博士論文として推薦

(2) 學習資料の蒐集

a 種類——實物、標本繪畫、圖表切抜き等

兒童の創意によつて教育參考資料と思ふもの受持指導の特に要求せるもの  
（註）資料は夏季休暇のお土産として九月に提出せしめ、環境整理資料とし、尙その鑑賞會を開く  
(3) 夏季學習帳の研究（軽く取扱ふも低學年及高學年と雖も生活學習訓練の未熟な兒童には之を重視す）

(4) 學習帳の整理

學習帳を以て児童自身の教科書と見る本校に於ては、本年度新に讀方、算術、國史、地理、理科の五科目に就て本校独自の形式によつて學習帳を制定したるを以て、その形式によつて第一學期の學習結果を整理せしむ

a 方法——字をきれいに自分の力で……訂正あきのない様に……補充……參考書の利用

b 結果の處理——第二學期に展覽會を開き優秀品を表彰す

(5) 生活日記の記載——左の形式の用紙へ記録せしむ

夏季休暇生活日記（昭和五年度）	
日	天気
一	起床
二	就寝
三	自究
四	資料
五	夏季學習
六	遊び
七	手傳
八	時
九	時
十	時
十一	時
十二	時

（註）遊び、手傳を含む生活の全野に就ての心得は、字別の校外自治會に於て、児童の規定せるものあれど略す。

B 指導方面

(1) 施設の徹底——休暇前に於て施設の大要を謄寫版にして配布す。

(2) 召集日の指導——夏季休暇中指導

a 召集日——各學校全體——三回各學級——學級適宜の回数

b 要領——

イ、生活日記の閲覧——生活程度を知る

ロ、持参せる、研究物の閲覧——賞讃、勵詞を與ふ

ハ、兒童の提出せる問題の研究ニ、蒐集資料の保存法指示

(3) 鑑賞展覽發表會——第二學期に於て

イ、鑑賞展覽——自由選題學習による研究物、蒐集資料、夏季學

習帖、學習帳——の全部（註）前者の中優秀品は特に一室に陳列し、他は各學級別に當該學習室に陳列す。

ロ、發表——自由選題による研究中、特に優秀（兒童博士論文として入賞せるもの）なもの各學級三名宛但し學年は尋四以上（註）前者の中各優秀品に對しては表彰狀を授く

四、實施後の狀況

實施後の狀況を熟視するに兒童のお土産物に強くもその生活の足跡の刻さるゝを知り生活指導の妙味を感得せずには居られない。就中自由選題による學習、學習資料の蒐集、學習帳の整理に於てその然るを見る、九月三十日には鑑賞展覽發表會を開催し、指導者兒童の一體となつての共同研究を行つた。當日發表の題目を列舉すれば左の通りである。

番號	題	目	學年
一	我が目的	汽車の今昔	尋高
二	太陽系地震	太陽系地震	尋高
三	火の山	火の山	尋高
四	山の衛生	山の衛生	尋高
五	夏のかけ物	夏のかけ物	尋高
六	網の珍動物	網の珍動物	尋高
七	ボンプ	ボンプ	尋高
八	東海道	東海道	尋高
九	地球	地球	尋高
十	石や鐵を水に浮かす法	石や鐵を水に浮かす法	尋高
十一	分	分	尋高
十二	数	数	尋高

次に學習參考資料として蒐集されたものは、繪畫・地圖・切抜き、實物（海藻・貝・昆虫魚等）が最も多く、繪畫・地圖・切抜き等は百二十枚のラシヤ紙に貼附した程で、環境整備に資すること大である。尙茲に附記すべきは資料蒐集の趣味の養成せられたことで、今尙ほ継続的にこの種の作業の行はれてゐることには喜ぶべき現象である。此の他の施設に就ての記述もあるが大分長くなつたので割愛して擲筆することを許して戴きたい。（一〇・四）





## 農村と教育施設との

## 交渉に就いて

鎌倉・大正 山田 三 朗

私は當校に参りまして未だ日は浅いのですけれども、その新任早々の時です。女子青年團の役員會を開かうと思ひました所、二十名ある役員が僅か三名の出席がない。随分集りの悪い所だと思ひましたが、更に驚いたことは各教室を見ると上學年教室に空席が非常に多い。居てもぼんやりしてゐるかさもなくば早退する。何故さうかと聞いて見ると今は農繁の眞盛り、農家は猫の手も借りたい程忙しいからだと言はれて、初めて其わけがわかつたそこで自分は學校經營上郷土を知らなくてはならない事を痛感した。

自分は今まで都會地の學校や漁村の

學校等に居たために季節と郷土といふものに對しては頗る無頓着であつたが農村に参つて初めて季節の郷土が大關係を有し、さてはそれが如何に學校教育に影響するかといふことがわかつたかつて「ルツソー」は教師中心主義の教育を痛罵して兒童中心主義の教育を絶唱し、教育の第一任務は兒童を知ることだと教へたが、自分はこの學校に來て吾れの第一任務は郷土を知ることだと悟つた。随分今迄も郷土教育といふことを聞かされ、郷土と學校とは離れてはいけない。従前の様に背中合せではならないと聞かされてゐたが、只頭の上で言はれただけで體驗上の問

題ではなかつた。がこの校に來てからは事毎に體驗されるので初めて眞の意義が分つた。それ故學校の都合だけを考へた施設方法では駄目だ。どうしても郷土の生活と季節といふものを根本的に調査し其の上に吾等の施設方法を適用して行かねばならぬといふ考へになり苦心して作製したのが左表であるこの郷土生活の基礎調査が出來ると頗る便利である。今一例を上げれば宿題を課する事は教育上異論はないが、其方法がよくない時は非常な難題を來す或は教師が命じた宿題をやつてこない爲めに、痛く子供を叱り罪人扱ひまですると云ふことがあるが、其實子供は怠けてやつて來ないのではなく、多忙のためやれなかつたのである。若し其の教師がこの調査表を見さえすれば、そんな悲劇も起さず済むのである。其の他日常の教授訓育養護の手加減さは

教科課程、教授細目、校外教授、家庭訪問等吾々の施設はこれを根據として行はるゝに依つて初めて教育が能率ある生きたものとなる。

或る識者の言によれば凡そ一切の計劃には二つの注意すべき事項がある。

第一は其の計劃が絶對的に善であると言ふことであり、第二は其の實行の難易といふことである。第一はさて置き、第二の實行の難易は、無數の事情によつて變はる而して之れは個々の國個々の境遇に、それ〴〵特有の方法を應用して見なければ到底分ものではないと。

要する所自分の爲した事は所謂第二を實行したわけであつて、大方の参考となれば望外の幸せである。

表は、この通りだ。

## 熊坂鶴松氏の卒去

本縣足柄上郡吉田島農林學校長熊坂鶴松氏は、六月六日自校生徒と共に、本縣農事試驗場中郡二宮園藝部に到り、視察見學中卒倒腦溢血症としてそのまゝ永眠につかれた。氏は愛甲郡中津村に産れ、明治三十五年本縣師範を卒業し、進んで東京帝國大學附屬農業教員養成所に入り、三十九年三月その專攻を了りて、職を千葉福島の兩縣に歴仕し、大正十年四月現職に就かれたのである。氏は性溫厚篤實、教育家にふさはしい君子の風格があり、儒者を父君とせる氏は、亦博學多識であり、沈毅莊重なる古武士の面影さへあつた。教育の功績又頗る顯著にして、就中、村民の懇請を容れ千葉縣八生農學校長として歸任せられたことの如きは、美事美談として今に喧傳せられてゐる。乃ち氏が大正八年千葉縣教育會の表彰をうけられたことは宜へなりと言ふべきである。

氏は單に子弟の教育のみならず、その學徳は指導と相待つて郡内教化事業の中樞をなしてゐた。されば訃報に接するや、校葬の當日、遠近來り會するもの無慮、弔辭に、弔電に哀傷の限りがつくされた。眞にその徳風感化の偉大なる人をして嘆稱おかざらしめしものがあつた。計一度天聽に達するや、特旨を以つて從五位勳六等に追叙せらる。

年齢、本年やうやく五拾有二、この練達有爲の良教育家を喪ひしことは、惜みても猶餘りありと言ふべきである。



彙報

東京音楽學校入學試験

程度中改正事項

一、學則第十七條第二項規定ノ豫科入學試験學科目中「唱歌」ノ試験程度ヲ左ノ如ク改メタリ。

從來聲樂部志願者ニハ總テ「コンコーネ作品五〇教課第二五番迄ノ程度」ニ於テ試験ヲ行ヒタルモ今後ハ男子ニハ「コンコーネ作品五〇教課ノ程度」Concone, op. 9, 50 Lecons de Chant)ニ於テ女子ニハ「ハルケージ第二編作品一一番三〇教課ノ程度」(H. de C. marches), 2. Op. 21, 30. Vocalises)ニ於テ試験ヲ行フ。

二、學則第十二條第一項規定ノ甲種師範科入學試験科目中「器樂」ニツキテハ從來「ピアノ」又ハ「オルガン」ヲ以テ試験ヲ行ヒタルモ今後ハ「ピアノ」ノミヲ於テ之ヲ行フコトニ改メタリ。

縣互助會

互助會五月成績狀況は、會員中罹災病氣のため慰籍料を贈りたる者合せて二名、家族病氣のため資金借入申に應じた數二件。

新教育研究發表講習會

A  
1 時 八月一日ヨリ四日迄四日間  
毎日午前八時・午後三時迄

2 會 費 一人金參圓別ニ印刷物費金三拾錢  
印刷物、講習要目、遊覽案内、其他法意事項

(神奈川縣教育會足柄上下教育會  
紹介者は特別割引の特典あり)

3 講師及演題

一、新教育主張者としてのルードルフ  
シュナイダー博士の學說

東京帝國大學教授 入澤宗壽氏  
文學博士 四時間

二、新教育原論

慶應義塾大學教授 小林澄兄氏  
四時間

三、精神分析學

東京文理科大学 教授 田中寛一氏  
文學博士 四時間

四、新學校經營論

東京帝國大學 助教 阿部重孝氏  
教授 四時間

課外講演

一、婦人問題の歸趨

早稻田大學教授 原田實氏  
一時間

二、晩近女子教育の趨勢

日本女子大學教授 高良富子氏  
一時間

2 申込所

主催

靜岡縣教育會  
新教育協會

後援

東京日日新聞社  
神奈川縣教育會

第十二回夏季講習會

主催

理科教育研究會

講師及講義題目並要項

一、自然科學の法則と科學者の立場

東京工業大學教授 田丸節郎  
東京工業大學教授 田丸節郎

二、理科教材としての昆虫

東京市視學 岡崎常太郎

三、生理教材及び其の教授法の研究

東京府青山師範學校教諭 中泉正雄

四、變生植物

千葉高等園藝學校教授 川村清一  
東京府視學理科指導員 廣瀬政次

五、小學校教材酸・アルカリについて

東京府視學理科指導員 廣瀬政次

六、國定理科書編纂の眞精神

東京女子高等師範學校教授 堀七藏

既定分左ノ如シ

一、田島小學校長

山崎 博氏

二、東京市富士小學校長

上沼久之亟氏

三、東京市浅草小學校長

大西文太氏

B  
1 新教育座談音樂會 會期中の一夜を以て茶話會に充つ

一、各講師及本會役員との懇談——質疑

二、教育レコード

三、聲 樂

◎會費金參拾錢

2 映畫教育の實演及講演 東京日日新聞社員

3 遊覽、會期中の第二日午後富士五湖巡りを行ふ

4 富士登山 閉會後希望者打ち揃ひて登山

5 其他、箱根溫泉、伊豆各溫泉地遊覽の便をはかる

會場 靜岡縣御殿場町御殿場小學校

D 申込上の注意

1 汽車賃半額の特點あり(但し往復切符購入者に限る)



七、見學箇所

一、航空研究所 二、製氷工場等の豫定(目下交渉中)

講義日程並時間割(日程は都合に依り變)

午前	午後
八時—九時	九時—十一時
八月(土)	田丸 岡崎 岡崎
一日(日)	岡崎 岡崎 中泉
二日(日)	川村 川村 廣瀬
三日(月)	中泉 廣瀬 廣瀬
四日(火)	堀 堀 堀
五日(水)	堀 堀 堀

- 一、會期 昭和六年八月一日より五日間
- 二、會場 東京帝國大學文學部二十八番教室
- 三、會費 金貳圓也。振替口座東京三九九貳番理科教育研究會宛に拂込むか、又は爲替にて入會申込と同時に前納の事(見學に要する汽車賃その他は自辨の事)若し會費前納者にして五日間全部缺席の已むを得ざる事情生じ七月卅日までに届出の方に限り理科教育八月以降十二月號迄五冊無料送本す。
- 四、講習證書 當講習を受けし會員に無料授與す。
- 五、會員資格 教員、學生、教育行政家
- 六、申込方法 入會御希望の方は御一名毎に、往復ハガキにて「理科教育夏季講習會入會申込」の十三文字及び學校又は住所と氏名を明記の上申込まれたし。尙返信用にも貴名住所を書き置かれたし。
- 七、申込所 東京市小石川區雜司ヶ谷谷町八十七、理科教育研究會宛(振替口座東京參九九貳番)
- 八、宿舍 親切で安價なる大學前の旅館を御世話する御希望の方は入會申込ハガキに「宿舍希望」の四字記入の事。

萬葉夏期講座

◇期間 自七月二十八日 八日 間(自午前八時 至八月四日 午後)

◇會場 國學院大學講堂(市省線 青島六丁目下車) 玉川電車町役場前

◇講師及講義題目

- 萬葉集文字雜考 國學院大學教授 文藝博士 金澤庄三郎氏
- 萬葉集講義(飛鳥) 國學院大學教授 折口信夫氏
- 萬葉集講義(奈良時代) 國學院大學教授 武田祐吉氏

◇會費 男女學歴を問はず 金 五 圓

◇申込 住所、氏名、職業を明記し會費を添へて御申込み下さい(用紙は何にても宜しうございます)

◇期限 七月二十六日迄に申込みのこと 申込み順に依り講義時間割を添へお送り致します

東京市外灘谷町 國學院大學

電話青山(五七八五番 五七八七番)

◎御旅館、御希望により御紹介致します(三食附一泊一圓半錢位)  
◎御照會、國學院大學教務課内萬葉夏期講座係宛のこと

へ營經の立獨りよ活生給俸

諸大家の讃辭、江湖の感謝狀、積んで山をなす。  
何が、此盛況! 此の感激! を生みたるか。  
全編、眞に之れ血涙を以て彩られたる熱誠の大文字!!  
讀む者をして讃嘆惜く能はざらしむ。  
今や白熱的大歡迎!!

教育書院代表者 川村 己 外新著

教員十五年

轉じて實業界へ

定價 一圓  
送料 六錢

著者川村氏は、茨城師範卒業後、轉々として同縣下小學校に奉職し、最も眞面目なる教員として、十五ヶ年を小學教育界に捧げ、訓導として校長として功績する所少からざりしが、恩給年限に達するや、斷然職を抛つて上京し、嘗に世の苦難と戦ひ、傍ら三人の子女を教育し、苦心慘憺遂に教育書院を創設し、出版業者として將又販賣業者として完全に獨立、獨歩の置歩を築き上げられたる、氏の奮闘的生活は、何等飾る所なく、大膽卒直に發表せられたるものにして、中に氏一流の人生觀あり、處世觀あり、然かも何人も氣付くべくして、氣付かざる成功の秘訣ともいふやうなものが明瞭に説かれてある。  
行文流暢に、到る處眞剣味を帯び、熱血の奔る所又又又、心と心、相打つて常に火花を散す、眞に感激に満ちたる著書である、本書を一讀したるものは必ずや、幾多の不平不満は、忽焉として消滅し、只々愉快に奮闘的生活に入るや疑なき所である。  
何人にも一讀を希望して止まない。

此の目次に見よ

- 目次 一、訓導三年 二、校長十二年 三、決然職を抛つて 四、苦難時代 五、上京二年
- 六、小店開業 七、失敗 八、地方廻り掛圖販賣 九、外交員募集
- 次 一〇、書籍出版 一一、小學校相手の營業 一二、受難 一三、再生
- 一四、再び小學校相手の營業へ 一五、再び出版へ 一六、苦難を顧みて

發行所 東京市東區本町七丁目 東京市東區本町七丁目 東京市東區本町七丁目 東京市東區本町七丁目 東京市東區本町七丁目



月刊新聞

# 教化運動

四六八頁  
八又三  
月三日  
發行  
每  
一  
ケ  
年  
十  
五  
錢

## ◇ 針指の化教民國 ◇

### ◇ 庫寶の料資化教 ◇

- 社會教化運動の權威ある根本指針
- 各地教化運動の迅速明確なる報導
- 有益なる教化活資料の不斷の提供
- 全國同志間の眞摯なる叫びの交換
- 附録「誌上講演」の添付は本誌獨特

敢て薦む!!

- ▽ 各地教化關係者、宗教家、教育家、社會事業家は必携せよ。
- ▽ 諸官衙、各種學校、圖書館、其他公衆集會の場所に常備せよ。
- ▽ 一般國民大衆はこの購讀によつて精神的糧を攝取せよ。

申込は速かに!!

發行所  
東京市麴町區大手町一ノ七  
財團法人中央教化團體聯合會  
振替東京七一七八二番

● 振替東京七一七八二番・東京・麴町・社會局分室

社會教化と政治

四六八頁  
三  
百  
錢

社會教化と宗教

四六八頁  
三  
百  
錢

教育勅語の精神

四六八頁  
二  
百  
錢

人口問題と海外の開拓

四六八頁  
三  
百  
錢

現代思想の史的考察 加藤 咄堂 著

四六八頁  
百  
五  
十  
錢

祖國に寄す 英國の魂 在英國好本督著

四六八頁  
三  
百  
錢

本會刊行教化資料既刊百餘種・書目送呈

● 財團法人中央教化團體聯合會刊行

昭和六年六月十八日印刷  
昭和六年六月二十日發行

編輯兼  
發行人 橫濱市中區西町三ノ五五 橫溝 今次郎  
印刷人 橫濱市中區住吉町五ノ五八 鈴木 清五

印刷所 橫濱市中區住吉町五ノ五八 橫濱 活版會  
發行所 橫濱市中區日本大通一 神奈川 教育會